

第126号

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE ALUMNI ASSOCIATION NEWS

東京農業大学 校友会ニュース

[発行]
東京農業大学校友会
〒156-0054
東京都世田谷区桜丘3丁目9-31
電話 03-3429-1983
FAX 03-3427-2271
[編集発行人]
校友会会長 萬歳 章

会長に萬歳章氏選出

第1号理事・監事選挙

任期満了に伴う東京農業大学校友会第1号理事・監事の選挙（選挙管理委員長 大林宏也・森林総合科学科教授）が5月23日に公告され、6月21日に都道府県支部総会などで選出された全国238人（欠員1人）の代議員により行われた。

副会長に小野氏、豊原氏指名

校友会第1号理事は定員20人に23人が立候補、得票上位20人が当選した。監事は定員と同じ3人が立

歳章氏を全会一致で選出した。萬歳会長は副会長に小野甲二氏と豊原秀和氏を指名、また、常任理事に

は上岡美保氏、小松山善継氏、糠谷禎則氏、荻茂壽太郎氏、吉田廣文氏を指名、審議の結果、異議なく承認

された。代表監事には神田務氏が互選により選出された。ブロック推薦の第2号理事5人は、5月24日の校友会総会で承認された。

理事・監事定数28人のうち、新人が18人、現職が10人と大幅に入れ替わるとともに、卒年が昭和40年代18人、50年代5人、60年代以降5人と若返りが進



昭和20年 新潟県生まれ（74歳）
43年 東京農業大学農学部農業経済学科卒
平成20年 JA新潟中央会・連合会・県本部会長
23年 JA全中会長
現在 学校法人東京農業大学理事・評議員

萬歳会長プロフィール

校友会・母校の発展に尽力

（就任のあいさつ）

令和元年6月の校友会役員の任期満了に伴う選挙により、会員の皆さまの暖かいご支援をいただき、第12代東京農業大学校友会会長に就任いたしました。

ご案内の通り校友会は、東京農業大学のグリーンアカデミーホール（校友会館）に本部を、全国47都道府県ならびに海外に15支部をおき、全卒業生17万6千余名の会員で組織されており、さまざまな活動を展開しています。

校友会の目的は、校友相互の親睦と社会的活動の助長併せて、母校の発展に寄与していくことです。校友会支部活動の活性化や財政など、多くの課題に取り組みながら、校友会本部・都道府県支部、海外支部の発展、東京農業大学の発展のために力を尽くしてまいる所存です。支部役員の方々をはじめ、会員の皆さま方のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京農業大学校友会新役員名簿（令和元年6月24日・役職別五十音順）

役職名	現・新	氏 名	卒年学科	現 職 ※令和元年7月16日現在
会 長	新	萬 歳 章	昭43経	学校法人東京農業大学理事・評議員
副 会 長	現	小 野 甲 二	昭47経	学校法人東京農業大学理事・評議員
〃	現	豊 原 秀 和	昭47拓	（一社）海外農業開発協会理事長／東京農業大学名誉教授
常任理事	新	上 岡 美 保	平13院経博	国際食農科学科教授
〃	現	小松山 善 継	昭44経	福島県議会議員／学校法人東京農業大学評議員
〃	現	糠 谷 禎 則	昭50工	静岡県支部長
〃	新	荻 茂 壽太郎	昭48造	（一財）公園財団理事長／東京農業大学名誉教授
〃	新	吉 田 廣 文	昭47林	埼玉県支部長／学校法人東京農業大学評議員
理 事	現	石 原 憲一郎	昭45造	兵庫県参与／学校法人東京農業大学評議員
〃	新	上 原 巖	昭63林	森林総合科学科教授
〃	現	上 原 万里子	昭63院農博	食品安全健康学科教授
〃	新	大 場 淳 一	昭56造	栃大場造園代表取締役会長／学校法人東京農業大学評議員
〃	新	岡 本 利 隆	昭56工	東京都支部長
〃	新	加 藤 恒 雄	昭47畜	神奈川県支部長
〃	新	川 満 信 男	昭51畜	沖縄県支部長（九州ブロック推薦）
〃	新	佐 伯 誠	昭49工	山口県支部長（中国・四国ブロック推薦）
〃	新	清 水 重 郎	昭47工	滋賀県支部長（北陸・東海・近畿ブロック推薦）
〃	新	鈴 木 貢次郎	平4院造修	造園科学科教授
〃	現	鈴 木 崇 之	昭50農	栃木県支部長／学校法人東京農業大学評議員
〃	新	高 野 三 郎	昭43院化修	茨城県支部長（関東・甲信越ブロック推薦）
〃	現	長 倉 春 義	昭45経	宮崎県支部長
〃	新	中 田 雅 俊	昭46林	秋田県支部長（北海道・東北ブロック推薦）
〃	新	早 坂 有 弘	昭49造	北海道支部長／学校法人東京農業大学評議員
〃	現	藤 代 孝 七	昭40経	千葉県支部代議員
〃	新	山 本 祐 司	平3院化修	東京農業大学副学長／農芸化学科教授
代表監事	現	神 田 務	昭45造	神奈川県支部副支部長
監 事	新	清 水 敏 夫	昭46林	群馬県支部副支部長
〃	新	水 澤 洋 介	昭48経	埼玉県支部幹事長

現役学生の 通常総会で事業計画 就活を支援

総会には全国から代議員210人（うち委任状56）が出席した。議長に大分県支部長の加藤早苗氏（昭48農）を選出、加藤議長が梶山孝泉氏（昭58拓）、緒方和彦氏（昭63林）を議事録署名人に指名した。上程された全4議案とも異議なく承認された。

令和元年度東京農業大学校友会通常総会が、5月24日、東京・世田谷キャンパスの横井講堂で開かれた。平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・収支予算（2面に表掲載）などが全会一致で承認された。また、主権者あ

いさつで三好吉清会長が退任の意向を示した。来賓祝辞では高野克己学長が新入試制度について説明し、注目を集めた。

oneコイン 募金の贈呈も

総会後、会場に農友会陸上競技部の小指徹・男子監督（昭62経）を招き「箱根駅伝への道oneコイン募金」の贈呈式が行われた。同募金の2期分の目録を外園惇副会長が小指監督に手渡した（写真は8面に掲載）。

oneコイン募金 名簿掲載

「箱根駅伝への道oneコイン募金」の募金者のご芳名は8・9面に掲載しています。



全国から代議員が集まった通常総会

通常総会主催者あいさつ(要旨)

なってくれたらうれしい」と述べた。

また、愛媛県出身の星川航輝副団長(経4)は「昨年、地元愛媛県にボランティアに行き、実際に被害の状況を見て何かできないかと考えていた。今回、豪雨災害の応援という形で地元へ帰ることができたのは、とても良い経験になった。自分たちの応援で復興の後押しができたのなら幸い」と、地元の豪雨災害からの復興を願い、熱く語った。

母校だより

大学教員の人事

(順不同、敬称略)

【平成31年4月16日】

▼称号授与

東京農業大学名誉教授

東京農業大学名誉教授

東京農業大学名誉教授

館 博

河野 友宏

立岩 壽一

理事長に大澤貫寿氏再任
法人農大が役員改選

学校法人東京農業大学
理事・監事の任期満了に伴
う役員改選が行われ、理
事16人、監事3人が決まっ

高野学長が
日本農業の未来像を検討
農政審会長

農林水産省が7月8日
に開いた食料・農業・農村
政策審議会で、新会長に東
京農業大学の高野克己学
長が選出された。農相の諮
問機関である同審議会の
会長就任は本学では初め
て、8代目の会長となる。

同審議会は9月6日に
吉川貴盛農相(当時)から
食料・農業・農村基本計画
の変更の諮問を受け、今後
5年間の農政の羅針盤と
なる新たな計画を検討し、
来年3月に答申。同月に新
たな食料自給率目標など
を示した計画が閣議決定
される。

高野新会長はインタ
ビューで「審議会の提言
は、日本農業の未来像を
作っていくことになる」と
し、議論で重視するのは
「農業は食料生産や環境・
国土保全などのさまざま
な機能を通し、人々の生活
の基盤を作る産業であり、
本当に国民の命を支える
方向と合っているかだ」と
強調、そのことを理解して
もらうための方策につい
ても審議会で話し合いたい
と述べた。

また、各地の大学で農
業系の学科が増えてきて
いることに對し、「大学は
都市部の住民に農業理解
を広めるための拠点にな
り得る。大学同士のネット
ワークを生かしたPRの
可能性も探っていきたい」
と語った。

審議会委員の任期は2
年。今期新たに6人が加わ
り、スパーや流通業者、
消費者団体、農業に精通し
た学識者ら20人で構成す
る。

学校法人東京農業大学役員・評議員一覧

(令和元年7月24日現在)

役 員	評 議 員
理 事 長 大澤 貫寿 常務理事 高野 克己 常務理事 志和地 弘信 常務理事 渡邊 文雄 理 理 理 鈴木 昌治 星野 喜代美 馬場 正 矢嶋 俊介 萬歳 章二 小野 甲二 手島 秀樹 菅原 哲男 福島 義人 尾崎 昭憲 鈴木 岳志 吉田 教文 今井 喜久枝 久保田 雅明	秋元 尚美 加藤 秀隆 神山 達人 小杉 雅彦 阿曾 清一 田 一郎 石原 淳一 鈴木 甲二 大場 小 小野 山 小松 善 齋藤 謙 佐竹 弘通 高橋 崇之 田 敬明 沼 征彦 早坂 有弘 本 秀逸 李 鉄幸 代 文 植 廣 原 秀 興 勉 石 洋 清水 雅明 友田 紀夫 浅見 幸一 海野 俊之 黒柳 光 三 上 水 谷 一

※記載順は、学校法人東京農業大学寄付行為に定められた順番で記載しております。

た。
7月16日に開かれた新
理事会の互選で大澤貫寿理
事長が再任、同24日の理事
会で常務理事に高野克己・
東京農業大学学長と志和地

ホームカミングデーに450人

親子三代を特別表彰

創立記念を祝う会と
ホームカミングデーが6
月15日、百周年記念講堂で
式典では高野克己学長

のあいさつの後、校友会の
山口県支部、香川県支部、
鳥取県支部、宮城県支部な

第19回ホームカミングデー「親子三代特別表彰」受賞者

代目	氏 名	卒年	学部 学科	住 所
1	森 克己	昭 19	専門部 農学科	(故人)
2	森 和義	昭 52	農学部 造園学科	山口県
2	森 法子	昭 52	農学部 造園学科	山口県
3	森 和子	平 16	地域環境科学部 造園科学科	山口県
1	造田 忠	昭 34	農学部 農学科	香川県
2	造田 泰	平元	農学部 栄養学科 管理栄養士専攻	香川県
3	造田 夏実	現 2 年	国際食料情報学部 国際食農科学科	東京都
1	竹茂 幹根	昭 34	農学部 林学科	鳥取県
2	竹茂 良平	平元	農学部 農業経済学科	鳥取県
3	竹茂 紗穂	現 3 年	国際食料情報学部 食料環境経済学科	東京都
1	本田 幹雄	昭 36 昭 40	農学部 農学科 大学院 農学研究科 修士課程 農学専攻	(故人)
2	小迫 典子(本田)	平 5	農学部 農芸化学科	埼玉県
3	小迫 健史	現 2 年	応用生物科学部 食品安全健康学科	埼玉県
1	泉保 繁美	昭 44 昭 46	農学部 農業経済学科 大学院 農学研究科修士課程 農業経済学専攻	香川県
2	泉保 創	平 10	農学部 農学科	香川県
3	河内 泰我	現 3 年	国際食料情報学部 国際農業開発学科	東京都

2019年度「東京農大貢献賞」受賞者

地域環境科学部	森林総合科学科	教授	江口 文陽
---------	---------	----	-------

2019年度「東京農大ベストティーチャー賞」受賞者

農学部	動物科学科	教授	増田 宏司
応用生物科学部	栄養科学科	教授	服部 一夫
生命科学部	分子生命化学科	教授	矢島 新
地域環境科学部	森林総合科学科	准教授	田中 恵
国際食料情報学部	食料環境経済学科	教授	田中 裕人
生物産業学部	北方園農学科	助教	大久保 倫子

2019年度「東京農大ベストレクチャー賞」受賞者

地域環境科学部	生産環境工学科	准教授	中島 亨
---------	---------	-----	------



東京農大貢献賞を受賞し講演する江口教授

代表して森和義氏(昭52
造)がお礼のあいさつを述
べた。
東京農大貢献賞は、森
林総合科学科の江口文陽
教授に授与され、受賞後、
「きのこの生産技術開発と
機能解析」について講演し

た。
昨年からは始まった東京
農大ベストティーチャー
賞は動物科学科の増田宏
司教授ら6人が受賞、今年
度から新設されたベスト
レクチャー賞は、教育の品
質向上に貢献した教員を
表彰するもの
で、生産環境工
学科の中島亨
准教授が受賞
した。

特別記念講
演では、本学造
園学科出身で
造園家の涌井
史郎氏が「農的
発想こそが持
続的未來を担
保する」と題し
て講演した。

実験実習棟が完成 厚木キャンパス



完成した実験実習棟。外装のデザインコンセプトは「地層(知層)」。

農学研究の発展に寄与

農学部の実験実習棟が
7月、厚木キャンパスに完
成し9月19日に落成式が
行われた。

落成式でのあいさつで、
大澤貫寿理事長は「厚木
キャンパス全ての学科が
活用する特色ある実験実
習棟として、日常的に学生
が使う場になっていただ
きたい」とし、「社会に発
信できる農学部として一
層の活躍を」と農学部への
期待を述べた。高野克己学
長は「素晴らしい環境で実
験・実習ができることで、
農学研究の発展に大きく
寄与するのではないか。こ
の環境を十分に活用して
いただきたい」とあいさつ
した。

工事経過報告の後、設
計・施工業者の竹中工務店
に大澤理事長から感謝状
が贈呈された。
実験実習棟は地上3階
建て、1階は肉・乳・農産
物加工の実習室、2階は生
物系実験室、3階は化学系
実験室。

鹿児島県喜界町

ヒトを結び産業興し

長野県長和町

山村再生へプロジェクト

食料環境経済学科助教 増田 敬祐

東京農業大学は、平成20年11月25日に長野県長和町と連携協定を締結した。事の起りは、食料環境経済学科の立岩壽一教授（現在は名誉教授）を中心として始まった平成4年からの長和町林業後継者グループとの植林交流にある。

20年5月には「地域再生・活性化の担い手育成教育」として文科省の「質の高い大学教育」採択を受けた。現在は山村再生プロジェクトとして年度内に10～11回、長和町をフィールドに2泊3日の教育プログラムを実施しており、

30年度の連携活動への参加学生は延べ数で1018人だった。

山村再生プロジェクトの主な活動内容として①遊休荒廃農地の活用②特産品開発③地域再生・活性化プランニング④地域交流⑤伝統文化・歴史体験⑥自然資源の保護が挙げられる。まず、遊休荒廃農地を利用した特産品開発についてであるが、地元の長和雑穀研究会と連携し、キヌア、アマランサス、エゴマの栽培から加工、販売までの一連の作業に学生も適宜、参加させて



トマトソース作りを学ぶ農大生



松尾神社例祭で大根踊りを披露する農大生

ち続ける学生をいかにして育てるかという、モノだけでなくヒトの育成も射程に入ってくる。本プロジェクトでは地域交流や伝統文化・歴史体験として松尾神社例祭に参加するなど、地元の方々とのさまざまな交流も行っている。これらの交流体験は卒業後も農大生が長和町を訪れるきっかけとなっており、実際、OB・OGは定期的に町を訪れている。本プロジェクトでの連携協定は、モノの開発はもちろん、ヒトを結び、ヒトを育てるアクティブラーニングでもあるところに特徴がある。

連携協定 地域活性化の役割担う

果樹とヤムイモを活用

名誉教授

豊原 秀和

国際農業開発学科教授

杉原たまえ

鹿児島県の喜界島は奄美群島の北東部に位置し、面積56・93平方キロの小さな島である。人口は7500人で、多くは基幹産業であるサトウキビ生産とゴマ生産、畜産業が主体である。

喜界島は「美しい村連合」に加盟しており、埋蔵文化財、世界的に有数といわれる隆起サンゴ礁、集落で見られるサンゴの石垣、豊かな自然と農業景観や島特産のゴマの乾燥風景などが印象に残るといふ。

基幹産業であるサトウキビが全島を覆い、見事な景観を醸し出し、耕作放棄地はほとんど見当たらないが、今後は担い手不足やサトウキビ農家の高齢化により現状を維持するのは困難な状況である。

私たちが取り組んでいるのが空き屋敷や廃虚を利用した観光果樹園である。この計画のこだわりは導入果樹による果樹園ではなく、島固有のかんきつ類の収集と復活に重点を置いていることである。喜界島にしか見られない花良治（けらじ）ミカン、島ミカン、フスー、クネンボなど多種類のかんきつが過去には多く見られたが、それらが減少あるいは消滅している。



ヤムイモについての説明会



ヤムイモ

観光果樹園である。この計画のこだわりは導入果樹による果樹園ではなく、島固有のかんきつ類の収集と復活に重点を置いていることである。喜界島にしか見られない花良治（けらじ）ミカン、島ミカン、フスー、クネンボなど多種類のかんきつが過去には多く見られたが、それらが減少あるいは消滅している。

そこで、空き屋敷を利用して花良治ミカン1000本、その他のかんきつを各10本ほど栽培し2年目を迎える。しかし南西諸島は毎年台風の襲来

に見舞われ、成長を妨げることやかんきつ類は収穫までに5年くらい必要とするため、農家は無収入となる。

そのため、昨年から導入したのが熱帯産ヤムイモである。種苗は宮古亜熱帯農場から導入し、町の営農支援センターで1年間試作を行い、生

産量が期待されたことや、作業が容易で高齢者でも栽培が可能と判断し、30戸ほどの農家を集めて講習会を開催、技術指導を行った。栽培が容易で年配者でも容易に収穫可能な品種を選別し、営農支援センターで収穫したものを配布した。



カットヤム



パウダー

パウダー、カットヤム、とうろなど、商品化に成功した。鹿児島県は「かるかん饅頭（まんじゅう）」などが有名で



東京農大は和歌山県太地町、太地漁協、太地水産共同組合と包括連携協定を締結した。協定の活動内容は①まちづくりおよび人づくりに関すること②自然、環

境、産業および地域振興に関すること③教育・研究・文化の発展に関すること

新しい連携協定



南あわじ市、JAあわじ島

東京農大は兵庫県南あわじ市、JAあわじ島と包括連携協定を締結した。協定の活動内容は①農林水産業および農村地域の課題解決

②次代を担う人材の育成③学術・研究・広報④産業・科学技術の振興⑤雇用の創出⑥地域の活性化または交流の拡大が主な柱。

本学と南あわじ市、JAあわじ島とは、ビジネス学科の学生が、南あわじ市「アグリアイランド」で実習を行ってきた。今後は、三毛作体系の継続を目指した土づくりと生産体制の強化など地域産業の発展に向けた取り組みも行う。

締結式は5月14日、世田谷キャンパスのアカデミアセンターで行われ、南あわじ市の守本憲弘市長、JAあわじ島の森統一組合長らと、本学から高野克己学長大浦裕二エグゼクティブ・ディレクターらが出席したII写真⑤。

東京農大古本募金

Tokyo University Of Agriculture Used Book Donations

皆さまの読み終えた本が、農大生の教育・研究を支えます

「東京農大古本募金」は、卒業生・保護者・教職員・在校生・一般の方から、不要となった書籍(DVD、CDなどを含む)を寄付いただき、その買い取り金額を、図書購入に活用します。

※買い取り価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた本の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承下さい。

※東京農大古本募金では、のように値段がつかない本を、運営会社の株式会社バリューブックスを通じて、国内の福祉施設、図書館、海外の教育研究機関に寄贈します。

お申し込み方法

STEP 1

梱包

STEP 2

お電話

STEP 3

寄付

書籍・DVD・CDなどを段ボール箱へ詰め、申込書をご記入の上、本と一緒にに入れてください。

※段ボール箱が複数になる場合でも、申込用紙は1枚で構いません。

※18歳未満の方は、保護者の方にお問い合わせください。

提携会社バリューブックス0120-826-292に電話し、「東京農大古本募金の申し込み」と、お伝えください。

●電話受付時間 10:00～21:00 日曜は17:00まで 年中無休

●5冊(5点)以上の場合、宅配業者が集荷に伺います。(送料無料)

提携会社バリューブックスで、買い取られます。

その売却代金は、「東京農業大学」に寄付されます。

●集荷から約10日で、提携会社バリューブックスから「書籍寄付受領書」[お礼状]が送付されます。税法上の優遇措置に必要な領収書の発行を希望される方は、別途東京農業大学までご連絡ください。2～3ヵ月で申告に必要な領収書が送付されます。領収書発行の日付は提携会社バリューブックスから東京農業大学への入金日となります。

皆さまからのご寄付は、東京農業大学の教育・研究に役立てられます。

お送りいただく書籍などについて

○買い取れる書籍などの例

ISBNコードの付いた書籍・CD・DVD

発売から間もない書籍など、リサイクル市場での価値が高い商品などは特に寄付金が大きくなる傾向がございます。

※書籍・CD・DVDなどの価値は需要と供給で決まるため、寄付していただいた本の状態が良くても値段がつかないこともありますので、ご了承下さい。



×買い取れない書籍などの例

ISBNのない本・個人出版の本/古書/マンガ雑誌・コンビニコミック/百科事典・起動しないゲーム機/ソフト・ディスクがひどく傷ついているもの・ケースおよびディスクが欠品しているゲーム/DVD・規格品番がないもの・違法なもの・海賊版/コピー/サンプル・ゲーム周辺機器・PCゲーム・児童売春・児童ポルノ禁止法(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品

値段がつかず、また古書市場でも再販できなかった書籍については、ブックギフトプロジェクトという形で、若者支援施設や福祉施設、国内外の小中学校の図書館、海外の教育研究機関に寄贈します。

「申込書」は東京農大古本募金ホームページの「電話で申込む」からダウンロードしてください。

Webからでもお申し込みができます。

東京農大古本募金 検索

<問い合わせ先>

学校法人東京農業大学 財務部 募金課

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

TEL. 03-5477-2776

E-mail. bokin@nodai.ac.jp

東京農業大学 <https://www.nodai.ac.jp/>

東京農大古本募金 <https://www.furuhon-bokin.jp/nodai/>



活動を発表した各国の学生らが総合討論を行った

「食と農と環境を考えた。3日間の来場者は延べ約800人。今年度のテーマは「若者が考える、地域社会と地球全体を結びつけるための持続可能な農業と資源管理の方法について」。18、19日は農業、環境、食料、教育の4分野、7グループで、各国の学生の活動を紹介し合い、討論を交わした。「農業分野における学生の活動」のグループではメキシコ、中国、モンゴルの学生と共に東京農業大学国際農業開発学科の沼田萌香さん(3年)が「日本の農村地域での私たちの取り組み」静岡県島田市伊久美地域の事例について発表した。

19日に横井講堂で締結式には本学から他に豊原秀和名誉教授、手島秀樹事務局長らが出席。中興大からはDr. Chang-Hsien Yang 副学長、Dr. Mu-Min Chen国際担三副学長、Dr. Shaw-Yih Hwang 学長一行は8月23日、台湾の国立中興大学を表敬訪問、新たに交換留学の覚書を締結した。学生交流をさらに推進することにも、研究面での協力についても推進していくのが目的。



中興大学との交換留学の覚書締結式

中興大は、1917年に創立され、台湾では最も古い農学部を有する大学で、今年で100周年を迎える。九つある学部(カレッジ)のうち三つは農業やライフサイエンスに関係する学部(農業・自然資源学部、生命科学部、獣医学部)。この3学部で大学規模の約半分を占めている。農大と中興大は、92年に学術連携協定を締結した、農大にとって5番目に古い協定校。これまで夏期短期プログラム、長期交換留学、世界学生サミットなど、さまざまな機会を通じて、学生間、教員間の交流を展開してきた。

学生交流はこれまで、長期交換留学に農大から中興大に計15人、中興大から農大に計37人が参加。夏期短期プログラムでは農大から中興大に累計で学生319人と引率教員48人、中興大から農大に累計で学生320人と引率教員47人が参加している。

持続可能な農業を討論

26カ国・地域の学生が世界サミット

「食と農と環境を考えた。3日間の来場者は延べ約800人。今年度のテーマは「若者が考える、地域社会と地球全体を結びつけるための持続可能な農業と資源管理の方法について」。

行われた全体討論では、各グループから各国の活動について発表があった後、持続可能な農業や環境保

全を進めていくために、学生としてできることや課題について各国の学生が話し合った。また、農大一年、二高、三高などの高校生らによるポスターセッションも行われた。これらの模様は厚木キャンパス、オホーツクキャンパスでも同時中継された。

学生交流さらに

台湾・中興大と留学覚書

農大と中興大は、92年に学術連携協定を締結した、農大にとって5番目に古い協定校。これまで夏期短期プログラム、長期交換留学、世界学生サミットなど、さまざまな機会を通じて、学生間、教員間の交流を展開してきた。

2020年度 一般入試 日程

出願期間	試験日	科目	学部	学科	試験会場	合格発表	入学手続期間
A日程 Web出願 2020年1月4日(土)～1月22日(水) 最終日はWeb入力15時まで郵送は消印有効	2020年2月5日(水)	3科目型	農学部	農学科・動物科学科 生物資源開発学科 デザイン農学科	札幌・仙台 郡山・水戸 宇都宮・高崎 大宮・松戸 津田沼・立川 町田・横浜 新潟・金沢 松本・静岡 名古屋・大阪 広島・福岡 那覇 世田谷キャンパス 北海道オホーツクキャンパス	2020年2月14日(金)～2月25日(火) 郵送のみ(消印有効)	2020年2月14日(金)～2月25日(火) 郵送のみ(消印有効)
			応用生物科学部	農芸化学科・醸造科学科 食品安全健康学科 栄養科学科			
	2020年2月6日(木)	3科目型	生命科学部	バイオサイエンス学科 分子生命化学科 分子微生物学科			
			地域環境科学部	森林総合科学科 生産環境工学科 造園科学科・地域創成科学科			
	2020年2月7日(金)	3科目型	国際食料情報学部	国際農業開発学科 食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科 国際食農科学科			
			生物産業学部	北方圏農学科・海洋水産学科 食香粧化学科 自然資源経営学科			

受験日自由選択制 試験日は3日間。全学部全学科とも3日間のうちのどの日でも受験可。

同一学科複数日受験制 同じ学科を最大3日間受験可能。

学部学科併願制 1日の受験で学部にとわらず、複数学科の出願が可能。入試科目の選択Ⅱは各学科が共通して選択可能としている科目を受験することが条件(科目詳細は大学案内もしくは本学ホームページ参照)。

出願期間	試験日	科目	学部	学科	試験会場	合格発表	入学手続期間
B日程 Web出願 2020年2月7日(金)～2月19日(水) 最終日はWeb入力15時まで郵送は消印有効	2020年2月27日(木)	3科目型	農学部	農学科・動物科学科 生物資源開発学科 デザイン農学科	仙台・大宮 松戸・津田沼 横浜・名古屋 大阪・福岡 世田谷キャンパス 北海道オホーツクキャンパス	2020年3月6日(金)～3月12日(木) 郵送のみ(消印有効)	2020年3月6日(金)～3月12日(木) 郵送のみ(消印有効)
			応用生物科学部	農芸化学科・醸造科学科 食品安全健康学科 栄養科学科			
			生命科学部	バイオサイエンス学科 分子生命化学科 分子微生物学科			
			地域環境科学部	森林総合科学科 生産環境工学科 造園科学科・地域創成科学科			
			国際食料情報学部	国際農業開発学科 食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科 国際食農科学科			
			生物産業学部	北方圏農学科・海洋水産学科 食香粧化学科 自然資源経営学科			

学部学科併願制 学部にとわらず、複数学科の出願が可能。入試科目の選択Ⅱは各学科が共通して選択可能としている科目を受験することが条件(科目詳細は大学案内もしくは本学ホームページ参照)。

2020年度 センター試験利用入試 日程

学部	科目	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
前期 農学部 応用生物科学部 生命科学部 地域環境科学部 国際食料情報学部 生物産業学部	4科目型 3科目型	Web出願 2020年1月4日(土)～1月17日(金) (最終日はWeb入力15時まで郵送は消印有効)	センター試験 2020年1月18日(土)～1月19日(日)	2020年2月14日(金)13時	2020年2月14日(金)～2月25日(火) 郵送のみ(消印有効)
		Web出願 2020年2月14日(金)～2月21日(金) (最終日はWeb入力15時まで郵送は消印有効)			
	3科目型	Web出願 2020年2月14日(金)～2月21日(金) (最終日はWeb入力15時まで郵送は消印有効)			

○前期日程においては、3科目型と4科目型の2方式を併用します。

○受験学科の指定科目さえ受験していれば、併願に制限はありません。全学部の異なる学科の併願、同じ学科の4科目型と3科目型を併願することも可能。また、前期と後期を併願することも可能。

○一般入試A日程およびB日程との併願も可能です。

2020年度 入学志願者・入学許可者に対する災害救助法適用に伴う特別措置を実施します。

2019年4月以降災害救助法適用地域に居住する保護者が被災(家屋全壊・家屋半壊)された本学志望の受験生に対し、2020年度入学検定料と入学後の初年度授業料等減免の特別措置を講じます。

対象 2019年4月1日以降、家計支持者を含む家族が居住する家屋が災害救助法適用地域にあり、かつ全壊もしくは半壊の被害を受け、被害認定された2020年度入学志願者。

東京農大2020年度 入試情報

- ①一般入試 A日程の試験会場は、全国23会場で実施
- ②一般入試 B日程は、全国10会場で実施
- ③センター試験利用入試前期・後期日程を実施

お問い合わせ先 世田谷キャンパス(応用生物科学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 入試センター TEL.03-5477-2226
厚木キャンパス(農学部)
〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737 入試課 TEL.046-247-4433
北海道オホーツクキャンパス(生物産業学部)
〒099-2493 北海道網走市八坂196 入試課 TEL.0152-48-3814

研究室紹介

Introduction

>>>>

37

持続可能な開発目標 (SDGs) Goal 2「飢餓をゼロに」の 達成を目指して

国際食料情報学部 国際農業開発学科 熱帯作物学研究室
教授 入江 憲治

熱帯作物学研究室は、熱帯・亜熱帯地域で栽培されている農作物や熱帯原産の有用植物資源を対象に、その特性解明および新規利用法の開発、栽培技術の開発・改良に重点を置いた研究を行っています。現在、15人の大学院生(8人の海外留学生)と約50人の学部生が研究室に所属し、大学院生を中心にさまざまな研究課題に取り組んでいます。

遺伝資源の保全と育種利用

近年、気候変動による地球温暖化は、干ばつや高温障害、新たな病害虫の拡大などの問題を引き起こし、農業の安定生産にも影響を与えています。このような問題に対応するため、新たな品種育成を進める必要があり、そのためには多様な遺伝的形質を持つ遺伝資源が必要不可欠です。私たちの研究室では、1000品種・系統のイネをはじめ、さまざまな作物の遺伝資源を保有しています。宮古亜熱帯農場では、農場と協力し、ヤムイモ100系統およびタロイモ300系統の遺伝資源をフィールド保存し、研究に役立てています。例えば、イネでは世界中の品種を活用し、高温ストレス、乾燥ストレス、アルカリ土壌など環境ストレスに強い新品種の育成を目指しています。ミャンマーでは、毎年アブラナ科野菜類の遺伝資源探索収集を行い、高温ストレス耐性やウイルス抵抗性などの特性評価を行っています。また同国から導入したラッカセイの地方品種には、乾燥ストレス下においても



ミャンマー産ラッカセイ遺伝資源の乾燥ストレス耐性の研究

窒素固定能力の高い品種が見いだされ、耐干性高収量品種の育成を目指しています。

1993年にパプアニューギニアのヤムイモ遺伝資源の探索収集から始まった、ヤムイモ研究は、本研究室の研究の柱として長く続けてきました。研究テーマは多岐にわたり、これまでもさまざまな成果を上げてきました。最近、ダイジョなど



IITAにおけるヤムイモ窒素固定能力の研究(ナイジェリア)

のヤムイモが窒素固定能力を持つ細菌と共生する植物であることが明らかになり、ヤムイモから分離された窒素固定菌と生育との共生関係を解明する研究を進めています。また日本のヤムイモであるジネンジョとナガイモの種間および種内・品種間類縁関係を解析し、それぞれの品種群を簡易的に識別できる指標の開発に取り組んでいます。

このように多様な遺伝資源を活用し、品種改良において不可欠な遺伝子の情報を蓄積することで、必要な遺伝子の一つずつ積み上げていく、遺伝子ピラミディングによるデザイン育種が可能となります。

国際農業研究と人材育成

熱帯作物学研究室は、国内外の機関と連携した研究活動を推進しています。西アフリカのナイジェリアでは、2012年に国際熱帯農業研究所(International Institute of Tropical Agriculture)と共同研究契約(MoU)を交わし、ヤムイモ生産技術開発の研究に取り組んでいます。東アフリカのケニアでは、バイオバーシティ・インターナショナル(国際植物遺伝資源研究所)と協働で、農業生物多様性による栄養改善を目指した、「アフリカ地域の生活習慣や食文化に適応した新たな栄養評価法の開発」の研究を行っています。このような海外で行うフィールド研究は、学生と共に取り組んでおり、学生を人間的に成長させるとともに、実践的な知識や経験および技術が身に付き、グローバルに活躍する人材を育成する教育を目指しています。



バイオバーシティと連携した農業多様性と栄養調査(ケニア)

東京電力福島第一原子力発電所の事故によって大量の放射性物質が環境中に放出された。その放射性物質を取り除くため、環境省を中心に除染が行われている。例えば、福島県相馬市では汚染状況重点調査地域に指定された住宅2521戸(進捗率100%)、公共施設212カ所(同100%)、道路17.9km(同100%)、農地(水田35.6ha、畑地35.1ha)のほ



福島県飯舘村の放射性物質で汚染された土壌などの仮置場

ば全ての除染活動が完了している状況にある。一方、一般的な農地の除染方法である表土剥ぎ取りで発生した土壌は、フレコンバッグに入れられ一時的に仮置場に積まれている。最近では中間貯蔵施設が熊野町と双葉町に完成し、搬入・貯蔵作業が行われている状況である。また令和6年には福島県外にそれらの最終処分場をつくるというのが環境省の方針であるが、汚染土の処理は今後の大きな課題として残っている。

平成30年度に東日本支援プロジェクトで相馬市山間部の急傾斜地の放牧地での放射性セシウムの空間的な濃度分布、森林からの放射

性セシウムの流出動態を把握し、その対策を提案することを目的とし研究を行った。調査対象地は福島県相馬市の放牧地、特に放牧地内は急傾斜の地点が多く、また勾配がさまざまなため、まず詳細な測量を行った。また研究では、森林と牧草地との境界の周囲を囲むような12地点において土壌表

面から5cmの深さまでを100立方センチメートルを用いて土壌を採取した。採取した土壌サンプルはゲルマニウム半導体検出器を用いて放射性セシウム濃度の測定を行った。調査の結果多くの地点では未除染の森林から放射性セシウムは流出していないことが明らかとなった。

一方で、ある地点では境界から0.2mの未除染地点では放射性セシウム濃度が1kg当たり4000〜6000ベクレルであったのに対し、2〜10m地点では放射性セシウム濃度1kg当たり500ベクレル以下、8〜10mで100ベクレル

東日本支援プロジェクト

安心して営農活動ができるように

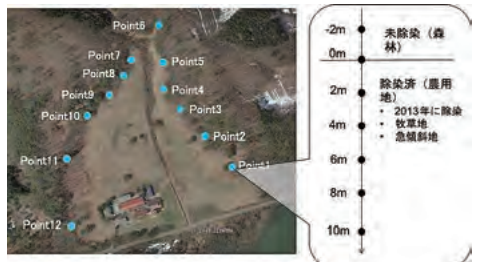
山間の放牧地や森林の放射性セシウム調査

地域環境科学部 生産環境工学科 准教授 中島 亨

汚染状況重点調査地域などに指定された場所では除染が進んでいる一方で、福島県の面積の約70%を占める森林においてはほぼ除染が行われておらず、依然として高い空間線量、高い放射性物質濃度の状態にあるとの報告がある。特に、未除染の森林と境界を接する除染済みの農地・放牧地などへの放射性物質の流出が懸念されている。



急傾斜地の牧草地で測量をする農大生



福島県相馬市の調査地の概要

以下の濃度であった。このことから未除染の森林から除染済み農地への放射性セシウムの流出が起った可能性がある。特に境界からの距離が遠くなるに従い放射性セシウム濃度が増加することから、土壌粒子や落ち葉などに付着した放射性セシウムが降雨によって下方へ流出した可能性があることが示唆された。

以上、調査結果を踏まえ、調査した放牧地では境界から少なくともマイナス6mの地点まで除染を行うことにより放牧地への放射性セシウムの流出は防止できると考えられるが、継続的に未除染からの放射性物質の除染済み農地への流出をモニタリングする必要がある。令和元年度の研究ではさらに中域程度(1ha程度)の範囲において空間線量分布を把握することを目指しUAV(ドローン)を用いた研究を行っている。

「水田の土壌の横顔をみてみよう」「田畑と里山の虫たち」「里山に進出する野生動物」「マーケティング実践講座」を行った。

農大サマースクール in 福島

東日本支援プロジェクトメンバーが中心となって令和元年度から公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構が行っている研究事業に採択された。「大学の専門的知見をフ



津波被害を受けた水田でのサマースクールの様子

津波被害を受けた水田の復興では、このような調査をすることにより効果的な復興が可能であると分かち、高校生は興味深く聞き入っていた。また参加した高校生からは農学の面白さや奥深さを学べてよかったなど、非常に好意的な意見が聞けた。将来的に今回参加した高校生などの地元若者が福島県の復興のリーダーに育って

いってほしい。

ル活用した浜通り地方の復興から地域創生へのシームレスな支援モデル構築」という事業を行っている。これまで復興支援に重点的に取り組んできたが、新たなフェーズに入り「人材育成」「地域創生」をテーマにした活動も行っている。

そこで、「東京農大サマースクール」と題し、地元高校生約20人と教員と農大生が参加したサマースクールを8月8日に実施した。メンバーがそれぞれ企画した「水田の土壌の横顔をみてみよう」「田畑と里山の虫たち」「里山に進出する野生動物」「マーケティング実践講座」を行った。

Campus now

農大の魅力を伝えるオープンキャンパス

世田谷キャンパス

猛暑に負けない熱気

2019年オープンキャンパスが8月4日(日)、5日(月)に猛暑の中、開かれた。今年は授業日の関係で日、月曜日の開催となった。近年は保護者の参加が多くなり、月曜日は来られないのではないかと来場者数の減少を見込んでいたが、北海道から沖縄までの全国から9310人来場。昨年を上回った。



生き物に触れる体験

初日は午前10時オープン前から長蛇の列ができ、繰り上げて開始した。東京農大への期待の高さがうかがわれた。

その上、2020年度入試は大学入試センター試験が最後の年になること、東京23区内の定員厳格化により大規模私立大学が入学者を絞っていることなどのため「浪人はしたくない」という受験生の安全志向も拍車をかけたと思われる。

今年から新たなAO入試を4制度導入したこともあり、「AO・推薦入試対策講座」に多くの参加者があり、質問者の列も長くなっていた。

「学科別マナビ体感」で参加者は、バイオプラスチック作り、フクロウに触れる体験、バナナのせり



バナナのせり体験

体験など、各学科のマナビを想像させる、趣向を凝らした催しに入学後の自分を重ね合わせていた。卒業生も参加した進路の話もあり、各会場とも外気温を超える熱気に満ちていた。その中で飲む網走の牛乳がとてもおいしかった。

厚木キャンパス

農学部面白さ体感

8月4日(日)、5日(月)に厚木オープンキャンパスを開催し、約2700人が来場した。

「学科別マナビ紹介」では、研究内容などの展示による学科紹介だけでなく、学生による研究発表や研究室、施設をめぐるツアーなど、体験できる企画で農学部4学科を紹介した。

また、大学の授業を体験できる「模擬講義」や「サイエンスショー」、「農学部・入試・就職ガイダンス」なども実施した。毎年人気のある「伊勢原農場見学バスツアー」は定員を増やし、より多くの人に見学していただいた。



伊勢原農場を見学する参加者

学生会館1階のアグリラウンジは休憩所として開放し、来場者には、農学部で製造したミルクアイスクリームを配付した。またアンケートに協力していただいた方には、伊勢原農場で栽培した花の苗やタマネギなどの農産物や富士農場で生産したホロホロチョウの卵などの農学部ならではのものをプレゼントした。



アグリラウンジの様子

レストランけやきでは、ホロホロチョウのプリンや伊勢原農場で栽培した果物を使用したホロホロプリンアラモードを各日限定30食で販売。

多くの来場者に農学部の魅力を十分に知ってもらえたイベントとなった。

北海道オホーツクキャンパス

自然の中マナビ紹介

豊かな自然に囲まれた北海道オホーツクキャンパスでは7月27日(土)、28日(日)にオープンキャンパス、8月24日(土)にキャンパスツアーを



参加者の相談に話が弾む学生スタッフ

開催し、生物産業学部に興味を持つ受験生や保護者を全国各地から迎えた。

学びのフィールドである北海道オホーツク地域全体を俯瞰(ふかん)するため「地域の全てがキャンパスツアー」として、360度の大大パノラマが広がる天都山山頂のオホーツク流氷館展望テラスへバスで移動。世界自然遺産知床の眺望、眼下に広がるオホーツク海、五つの湖、広大な大地などの大自然を実感した。

キャンパスへ戻り、北海道オホーツク地域の大自然の中で展開されている「森と湖の学校」「大地の学校」「海と川の学校」の「学校シリーズ」を紹介。学科の枠を超えた、生物産業学部4学科の連鎖した「マナビ」、地域との連携した取り組み



学生と教職員が一丸となって来場者をおもてなし

みなどを披露した。

もちろん、各学科のマナビを体験する「学科マナビ体験」も実施。周辺環境をフル活用した各学科の特徴的な研究・教育活動の一端を体験。

昼食はオホーツクの素材を詰め込んだ特製ランチで北海道の「食」も堪能した。さらに、2020年度入試から新たに導入されるAO入試を中心とした「入試概要説明」も実施。参加者は熱心にメモを取りながら説明に聞き入っていた。

企画展示①
小さい隣人「マウス」という名の鼠一展
2020年の干支(えと)は子年(ねどし)、いわゆる「鼠(ねずみ)」である。その代表的な鼠がドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミの家ネズミと称される仲間である。ところが、驚くことにわが国ではハツカネズミは江戸時代、既にペットとして飼われるほどの人気だった。ハツカネズミは現代、家畜化されマウスと呼ばれ、その姿形と行動がコンピューターのマウスに似ていることから、その名は違

企画展示①



二母性マウス、かぐや」を誕生させ、生命発生の解明に大きく貢献したことも知られている。

一方、子年はオリンピック年でもある。「東京のネズミ対策を考えると」という声もある。本展では殊に江戸時代

企画展示②

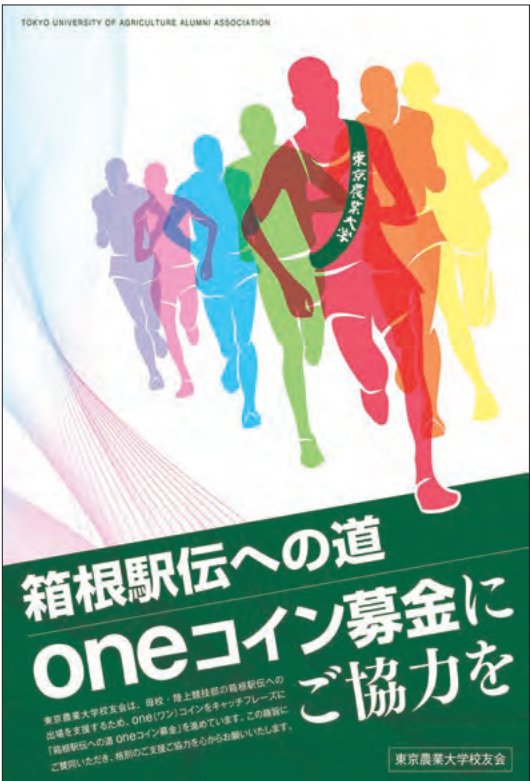
みどりと暮らしたの舞台演出家ノ農大ランドスケープデザインNOW & FUTURE
この企画展は、大学院造園学専攻が誕生し



○会期①②とも10月24日(木)〜令和2年4月15日(水)

て30年を迎える2020年を前にし、また、1972年に造園科学科(当時…造園学科)の研究室体制が体系化され「ランドスケープデザイン研究室」の前進である「造園計画第2研究室」が誕生してまもなく50年を迎えるにあたり、東京農業大学におけるランドスケープデザイン教育の近年の「作品」と「教育を支えたデザイナー」とその作品、そして「農大と社会とのつながり」を概観し、自然との関わりの中で暮らしの舞台としてより質の高い「ランドスケープデザイン」をみんなが具現化していくための新たな一歩である。少子高齢化、人口減少などにより限界集落や消滅可能性都市が取りざたされる中、そこならではの資源を織り込んだ地域計画、地域デザインを行うことで経済的基盤も確保しながらも経済的価値だけでは語れない豊かな暮らしを展開したい。





第2期分を陸上競技部に

大学スポーツ界の最大のイベントとも言える箱根駅伝への出場は、他の大学も並々ならぬ意気込みで、その強化に取り組んでいます。東京農業大学校友会は、母校農大と一体となって、陸上競技部の強化対策を支援するために「箱根駅伝への道oneコイン募金」を開始し、今年で2年目となります。全国から寄せられた募金は令和元年9月末で3,251件、751万9,487円になりました。ご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

5月24日に開催された校友会通常総会の席上、寄せられた募金から第2期分200万円を男子長距離セクションの強化対策費として、陸上競技部に寄贈しました。

小指徹・男子監督は「全員が箱根駅伝の予選を突破するという思いで頑張っています」と本戦出場への決意を表明。「oneコイン募金は強化対策に、しっかり有効に使わせていただきます」と述べました。



校友会の外園惇副会長(左)から農友会陸上競技部の小指監督に目録が手渡されました。

箱根駅伝への道 oneコイン募金

募金者ご芳名

※平成31年4月から令和元年9月末までに校友会本部にお届けいただいた方々です。以降も募金された方については毎号掲載させていただきます。

(順不同、敬称略)

【北海道】

鶴丸哲司 雨池信行 馬場昭和 阿部昭彦 宮田純一

【青森】

中田健造 齋藤久美子

【岩手】

駒井元 千葉徳太郎

【宮城】

会田保良 門間清 芳賀昊 長屋秀幸

▽支部総会

伊東健 渡辺岑夫 恵美雅信 山田龍太郎 浅見紀夫 阿部幸弘

伊藤裕之 遠藤鷹一 遠藤武聡 及川史郎 大川武彦

小野和廣 加藤功 小室秀行 西條將志 斉藤顕喜

佐久間亨 佐藤順治 佐々木政夫 庄子喜孝 鈴木和人 高橋汎 高橋弘 立花善夫 永井博 永田幸洋

也 渡辺和宏 兼村昌記

【栃木】

岩渕守男 三宅恭典 小川勝人 山中庄一

▽支部総会

石塚透 小島俊一 柿沼俊徳 池上知恵子 石原良行 大島哲男

石田幸一 金子友昭 橋本昌英 鈴木誠人 大島肇

小林政至 菅原礼太郎 野島忠夫 船田吉昭 大竹正浩 町田彰久 横松久夫

大橋利一郎 永島晃 田代和彦 明瀬敏 宇賀神正章

鈴木素之 秋山貴之 今長邦仁 片山勇 見形和久

下山剛史 土屋久子 高橋直矢 笹川邦子 佐藤信之

【群馬】

久保富雄 和泉一郎 中澤久保富雄 和泉一郎 中澤夫 竹生田茂樹 伊藤周

紀生 渡辺武能 山崎雅士

小野崎一男 藤代孝七 三須健一 島海稔雄

▽長生郡市常磐会

松野潔 森誠一 正林正任 大柿恵司 沼崎博志 石井睦弘

▽千葉県常磐会

小林正和 熊谷一秀 千葉県常磐会有志

▽支部総会

小高展二 丸野豊 石井睦弘 丸山武則

▽山武支部

猪野和昭 小野崎一男 堀越将吾 今関喜行 島海稔雄 斎藤寿夫

繁田利幸 前川正和 横林研太郎 行木達哉 山武支部一同

▽高校職員校友会

西川明 夫 竹生田茂樹 伊藤周

波津久清久 山本由布子

三浦節子 中島徹夫

▽湘南校友会総会

坂本政美 添田吉則 岡田茂樹 山田潔 高橋勉 松山明彦

船津英樹 菊地康太 山口敏雄 増田健治 福田久雄

和田弘基 吉川憲一 田中文司 吉野誠 高橋登美雄

小林三郎 前田隼彦 北村良久 塩野英男 田代善則

清水圭一 松居靖雄 加藤恒雄 神田務 嶋村勝美

廣濱徹 磯谷ゆり子 川名昌雄 深澤貴光 松居浩一

▽支部総会

廣濱徹 松居靖雄 梅田ひろ子 神田務

清水圭一 加藤恒雄 柏木忠昭 磯谷ゆり子 大久保

泰明 塩野英男 下山和正 深澤貴光 池田豊 中山大海 長谷川正英 加藤紀仁

岩間貴之 大久保義和 吉田泰弘 高橋晋太郎

【山梨】

宮川俊一 瀧田光男 落合正仁 上野喜弘 小野甲二

▽南アルプス桃源郷マラソン大会選手応援

雨宮俊郎 雨宮正行 内田正文 小野修一 小野甲二 金丸一明

久保田公雄 小林洋 齊藤陽一 齊藤康昭 高橋義徳

祥彰 若山起哉 渡辺隆雄

一郎 荒川朋明 安澤義彦

五十嵐正美 石垣稔 伊藤敏江 伊藤讓 伊藤佳幸

稲部宗宏 入山定治 上野修二 宇田川宏 大岩秀樹

太田正美 大原富栄 大村信幸 荻莊誠 小田佐千栄

甲斐元也 貝瀬貴昭 笠原敏夫 梶井重一 加藤茂

神田林弥 木村道雄 久保田禎男 熊谷剛 熊木秀徳

黒井亮汰 小林郁夫 小林江利子 小林秀人 小林幸久 後藤雄行 齊藤常一

佐々木正雄 佐藤孝明 更科正園 椎谷八一良 渋谷武史 清水将 白井法夫

菅山次郎 鈴木和夫 鈴木繁 清田政也 関川清 高塚俊郎 高家利恵 高橋直史 田崎要 田中洸次 田辺新 土田正次 富樫一成

中野忠雄 仲林進 永井紘一 西澤正恒 長谷川明一

波多修榮智 古川美弘 細野恭太 本間和弥 本間亘

増子雄一 松郷幸治 松澤大介 丸山曉 水澤辰夫

宮崎直樹 宮田千夜子 室岡甚一 室橋拓弥 室橋菜々穂 柳繁夫 山田悠人

山本一成 吉田和夫 若杉祥彰 若山起哉 渡辺隆雄

月 青山佳希 田中裕大

石金哲平 森内万尋 広瀬圭梧 萬谷眞之介 竹原美早 宗景昭 木下眞 長崎

助秀 黒崎充 中曽根勝人 久郷慎治 広田祐一 堂田

長武 野上一志 野田裕子 田中智也 有志

【石川】

石田弘栄 南春夫 前田賢聖 穴田英夫 野々市芳朗

高井治 堀田忠信

【福井】

奥田俊夫

【岐阜】

田口加南子 村田重春

▽支部役員会

國島純子 高田順子 鶴飼望美 鶴飼信裕 青木宏達 太幡正樹

岩本英世 川瀬勝之 川瀬泰孝 中島豊之 内藤邦雄

堀勉 桜井敬文 林久詞

▽支部総会

相田明 青木宏達 赤池保 足立正孝

石子竜太 岩本英司 岩本英世 遠藤雅樹 大竹亜美

奥村雅也 小原高德 川瀬勝之 川畑知治 工藤岳彦

小島嘉晃 佐久間俊直 櫻井敬文 佐々木清 島田正幸 下出敏樹 杉浦隆斗

鈴木つづら 高田順子 竹内勇人 太幡正樹 時任大

注文方法と商品の発送について

ご購入希望者は、以下の内容をお書き添えの上、東京農業大学校友会までメールまたはFAXでお申し込み下さい。

- ①氏名、卒年、学科 ②送り先住所
- ③TEL(自宅または携帯)
- ④FAX(メールでの申し込みの場合は必要ありません)
- ⑤品名と数量

※10月から税込価格が改定になりました。

E-mail ko3883@nodai.ac.jp

FAX 03-3427-2271

- 校友会では在庫を確認し、送料を加えた販売価格をご連絡いたします。
- 株式会社農大常磐松の口座でご入金を確認し、商品を発送いたします。

送金口座 三井住友銀行 経堂支店 普 5096938 口座名義 カ)ノウダイトキワマツ

●お問い合わせは TEL.03-3429-1983

●スプーンセット



農学部生物機能開発研究室の長島孝行教授が開発・デザイン。昆虫タマムシのカラフルな発色を応用した構造色のスプーンセット。高級感あふれるオシャレ感が秀逸です。

税込3,100円

●校友会旗



農友会活動の応援などで使用できるのはもちろん、部屋に飾ってもクールな校友会旗。縦約52cm×横約70cmの程よいサイズです。

税込1,550円

●名刺ケース



農大校友には必携。深い緑色が印象的な牛革製の名刺ケース。見開き部分に金箔押しで農大校友会の名入れがある。収納は約50枚、サイズは105mm×70mm。

税込1,250円

●ネクタイピンB



サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:梨地仕上げ(農大マーク八角形)、メッキ:ニッケルメッキ。

税込1,050円

●ネクタイピンA



サイズ:12mm丸、ノセコ:七宝仕上げ(緑色)、メッキ:金メッキ、裏付属:チェーン付きタイタック式。

税込2,100円

●ネクタイピンE



サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(農大マーク丸)、メッキ:ニッケルメッキ(本体)、金メッキ(ノセコ)。

税込1,050円

●ネクタイピンD



サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(大根)、メッキ:ニッケルメッキ。

税込1,550円

●スカーフ



シルク生地100%のスカーフ。コーデのアクセント、頭や首、バッグに巻いたりと幅広く使える約72cm×約72cmの大判サイズです。

税込4,100円

●ネクタイC



剣先に鶏のワンポイント入り。織り組織もヘリンボーンとすることで見栄えもしっかりしています。

税込4,100円

●ネクタイB



剣先に農大ロゴのワンポイント入り。松葉緑のヘリンボーンに黄色のストライプでどんなシーンでも使えます。

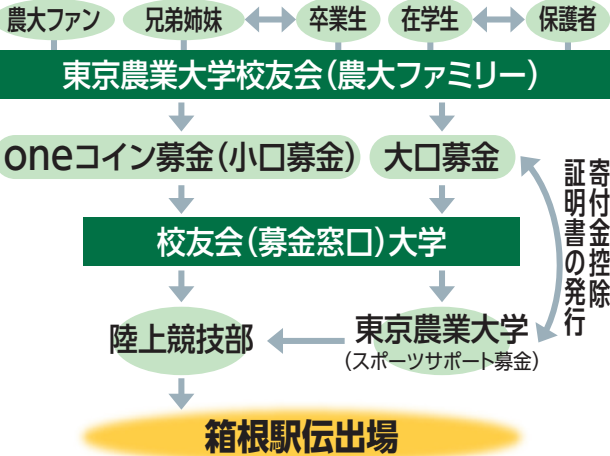
税込4,100円

東京農業大学校友会 オリジナルグッズ販売

募金の概要

- 1 名 称：箱根駅伝への道 oneコイン募金
- 2 募金額：(1)ー 口 500円以上(複数回)
(2)全体目標 1億円(1000万円/年)
(3)支部別目標 1支部200万円(20万円/年)
(4)募金期間 平成30年4月から10年間
- 3 募金概念図 一下図参照
- 4 寄付金控除を希望する大口募金者は、大学スポーツサポート募金とする。
- 5 校友会から大学に寄付する場合は、スポーツサポート募金とする。
- 6 募金活動運営費：募金額の20%以内の額を経費とする。

箱根駅伝への道 oneコイン募金



募金の仕方・集め方

銀行送金で寄付

1 寄付金控除を希望しない場合

- ①ゆうちょ銀行「払込取扱票」にてお振り込みください(校友会ニュース同封)。
- ②一口500円以上(金額にかかわらず何口でも、何回でも、毎年でも)
- ③送金手数料は掛かりません。

2 寄付金控除を希望する場合(大口寄付)

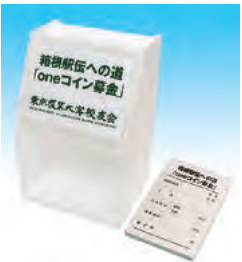
東京農大スポーツサポート募金(同封のパフレット)の三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、ゆうちょ銀行の「払込取扱票」でお振り込みください。

校友会支部総会などの集会で現金を寄付

- ①一口500円以上(金額にかかわらず何口でも、何回でも、毎年でも)
- ②原則として、募金用紙(写真下)に名前・金額を記入して募金箱(写真下)に投入してください。
- ③領収書は発行しません。
- ④校友会支部長(または幹事長)は、集会ごとの寄付金をゆうちょ銀行「払込取扱票」でお振り込みください(募金箱に投入された募金用紙は本部に郵送してください)。
- ⑤払込取扱票通信欄に「(例)〇〇支部総会参加者一同」と記載してください。

*校友会本部への寄付者のご芳名は、原則として校友会ニュースに掲載いたします。

*「箱根駅伝への道oneコイン募金」についてのご質問等は校友会本部にお問い合わせください。



【茨城】
木嶋孝 濱史郎 櫻井良宏
篠原貴子 麻生阿由美 油原正明 北志郎 高野三郎 飯田秀昭 吉見光 高野三郎

▽支部総会 秋山次郎 高野三郎 兼村清雄 木村正道 大和田幹夫 鈴木勝一成井重美 外ノ岡政典 羽生昭男 谷口信之 鈴木周郎

【千葉】
亀川貴之 盛田正樹 大江直毅 岩瀬和夫 伊藤敏子 荒木信枝 清野諭史 亀田雄司 斎藤謙吾 成田淳一 高橋義之 小安由男 山本勝広 清水圭一 飯田確男

【神奈川】
中野秀 細谷晋之 竹内伸一 上妻正道 日下部毅一郎 檜垣宮都 加藤恒雄 阿部英祐 上田奈美 山崎裕子 青木豊 鈴木教夫 子安良治 境野広行 銀山健 福島和好 石渡卓司 木村圭三 篠崎克之 相原知加子 坂間登 松浦一司 曾根良二 杉山幹夫 竹村勝広 清水圭一 飯田確男

【新潟】
萩荘誠 小柳豊 大矢一茂 高野俊 野上桂 高橋学 小林紘宇 坂上永磨 小林敦 加藤昭夫 湯本守 石月正三 田中稔 篠田茂谷口豊 福田直行 岩出久夫 梶井重一 土田正次 小林一道 宮崎長 後藤雄行 鈴木繁 上野喜代一 渡辺幹雄

▽支部総会 相川仁 青木皓暉 荒谷惇之介 渡辺美太郎 青柳恒郎 阿部新

【富山】
新川謙介
▽教育後援会 中永悠貴 丸山諒子 栗原拓海 清水皓暉 荒谷惇之介 渡辺美太郎 青柳恒郎 阿部新

【愛知】
大岩高也 都築二郎 近藤善房 河合勲夫 藤原幹紹 柴田昌典 井上智貴

【三重】
家城吉雄 石川哲章 朝尾高明

【京都】
三谷秀之 尾崎史明 牧田政人 福田孝彦 竹茂幹根 福本克彦

【福島】
緑川幹朗 小澤義喜 大井幸広 齊藤龍悟 氏家又治郎 星久一郎 岩淵薫 大竹幸一 諸井英樹 高橋庄作 酒井慎二 田部文紀 梅木忠孝 斎藤幸祐 小野里正信 いわき支部総会参加者一同

▽支部総会 清水信夫 後藤久雄 岡田力 川田安夫 鈴木峯一 田中淳 瀬山明川鍋秀雄 川俣好子 伊藤一夫 水澤洋介 中島洋志 山崎正治 宮林茂幸 川俣俊文 安達哲司 遠藤征矢

【神奈川】
中野秀 細谷晋之 竹内伸一 上妻正道 日下部毅一郎 檜垣宮都 加藤恒雄 阿部英祐 上田奈美 山崎裕子 青木豊 鈴木教夫 子安良治 境野広行 銀山健 福島和好 石渡卓司 木村圭三 篠崎克之 相原知加子 坂間登 松浦一司 曾根良二 杉山幹夫 竹村勝広 清水圭一 飯田確男

【新潟】
萩荘誠 小柳豊 大矢一茂 高野俊 野上桂 高橋学 小林紘宇 坂上永磨 小林敦 加藤昭夫 湯本守 石月正三 田中稔 篠田茂谷口豊 福田直行 岩出久夫 梶井重一 土田正次 小林一道 宮崎長 後藤雄行 鈴木繁 上野喜代一 渡辺幹雄

【富山】
新川謙介
▽教育後援会 中永悠貴 丸山諒子 栗原拓海 清水皓暉 荒谷惇之介 渡辺美太郎 青柳恒郎 阿部新

【愛知】
大岩高也 都築二郎 近藤善房 河合勲夫 藤原幹紹 柴田昌典 井上智貴

【三重】
家城吉雄 石川哲章 朝尾高明

【京都】
三谷秀之 尾崎史明 牧田政人 福田孝彦 竹茂幹根 福本克彦

【徳島】
山本祐三郎 井上暁 久保素弘 町田治幸

【香川】
大西英美 十河士志夫 森川桂輔

【山形】
須藤行雄 堀光幸 後藤康太郎 小野寺徹

【埼玉】
吉田健一 佐藤悌三 鈴木健治 栗原将大 沢田喜一郎 吉田廣文 小竹弘昭 森田雅子 久保田紀彦 北林葉子 豊島義明 松本康博 黒田昭 角谷幸平 市川光晴 井上信人 水澤洋介 関根家松 鈴木健治 佐々木淑元 鈴木勝 安達哲司 岡本素子

【東京】
比留間孝明 伊藤雄介 田口仁 森田将史 吉竹永史 大場淳一 細井誠一 林田武実 加藤靖 神田昌幸 阿部達明 宮澤明日香 宇田川美穂子 田代清重 佐久間恵助 小池莊一郎 小牧昭次 池田明子 古市清隆 大泉高明 坂本龍三郎 山田善通 桜井太郎 中村聖 黒田充 神田昌幸 鶴田義久 井上洋子 今井正克 伊藤慎介 支部総会出席者有志

【長野】
林新一郎 岡本素子
▽支部総会 前田美智子 伊澤宏爾 伊藤郁子 前田善男 青木孝憲 浦野邦衛 綿貫幹雄 宮坂綾子 塩川一則 横川都 上條文美香 和田慎太郎 野々山俊熙

【新潟】
萩荘誠 小柳豊 大矢一茂 高野俊 野上桂 高橋学 小林紘宇 坂上永磨 小林敦 加藤昭夫 湯本守 石月正三 田中稔 篠田茂谷口豊 福田直行 岩出久夫 梶井重一 土田正次 小林一道 宮崎長 後藤雄行 鈴木繁 上野喜代一 渡辺幹雄

【富山】
新川謙介
▽教育後援会 中永悠貴 丸山諒子 栗原拓海 清水皓暉 荒谷惇之介 渡辺美太郎 青柳恒郎 阿部新

【愛知】
大岩高也 都築二郎 近藤善房 河合勲夫 藤原幹紹 柴田昌典 井上智貴

【三重】
家城吉雄 石川哲章 朝尾高明

【京都】
三谷秀之 尾崎史明 牧田政人 福田孝彦 竹茂幹根 福本克彦

【徳島】
山本祐三郎 井上暁 久保素弘 町田治幸

【山形】
須藤行雄 堀光幸 後藤康太郎 小野寺徹

【埼玉】
吉田健一 佐藤悌三 鈴木健治 栗原将大 沢田喜一郎 吉田廣文 小竹弘昭 森田雅子 久保田紀彦 北林葉子 豊島義明 松本康博 黒田昭 角谷幸平 市川光晴 井上信人 水澤洋介 関根家松 鈴木健治 佐々木淑元 鈴木勝 安達哲司 岡本素子

【東京】
比留間孝明 伊藤雄介 田口仁 森田将史 吉竹永史 大場淳一 細井誠一 林田武実 加藤靖 神田昌幸 阿部達明 宮澤明日香 宇田川美穂子 田代清重 佐久間恵助 小池莊一郎 小牧昭次 池田明子 古市清隆 大泉高明 坂本龍三郎 山田善通 桜井太郎 中村聖 黒田充 神田昌幸 鶴田義久 井上洋子 今井正克 伊藤慎介 支部総会出席者有志

【長野】
林新一郎 岡本素子
▽支部総会 前田美智子 伊澤宏爾 伊藤郁子 前田善男 青木孝憲 浦野邦衛 綿貫幹雄 宮坂綾子 塩川一則 横川都 上條文美香 和田慎太郎 野々山俊熙

【新潟】
萩荘誠 小柳豊 大矢一茂 高野俊 野上桂 高橋学 小林紘宇 坂上永磨 小林敦 加藤昭夫 湯本守 石月正三 田中稔 篠田茂谷口豊 福田直行 岩出久夫 梶井重一 土田正次 小林一道 宮崎長 後藤雄行 鈴木繁 上野喜代一 渡辺幹雄

【富山】
新川謙介
▽教育後援会 中永悠貴 丸山諒子 栗原拓海 清水皓暉 荒谷惇之介 渡辺美太郎 青柳恒郎 阿部新

【愛知】
大岩高也 都築二郎 近藤善房 河合勲夫 藤原幹紹 柴田昌典 井上智貴

【三重】
家城吉雄 石川哲章 朝尾高明

【京都】
三谷秀之 尾崎史明 牧田政人 福田孝彦 竹茂幹根 福本克彦

【徳島】
山本祐三郎 井上暁 久保素弘 町田治幸

ズー ム アップ 34

島根県邑南町
商工観光課 調整監
寺本 英仁氏
(平成6年拓殖学科卒)

過疎の町を活性化 ズーパ―公務員

「食と農」を切り札に、過疎化している町を地産地消で盛り上げたズーパ―公務員「寺本英仁」さん。NHKプロフェッショナル 仕事の流儀で紹介されるほど注目を集めている。「にっぽんA級(永久)グルメのまち連合」のアドバイザーとしてその心と手法を全国に広めている。寺本さんに取り組みの一端を紹介していただいた。

平成6年に東京農業大学拓殖学科を卒業後、実家のある島根県の石見町(現邑南町)役場に入庁しました。最初に所属した産業振興課では、林業係で造林担当をしました。慣れない山歩きに悪戦苦闘しました。

自分が東京農大卒業でなければ、産業振興の部署に回されることもなく、ホワイトカラーの道を選べたのにと、大学を逆恨みした時期もありました。しかし公務員人生も今年で25年。町の「食と農」の取り組みに、一貫して関わってきたのは、東京農業大学を卒業したからだ、今では「感謝」と言う言葉だけでは表せない思いです。

当時は振り返れば、石見町時代の松本潤町長も



東京農業大学農業経済学科卒業ということもあって、僕に多分の期待をしてくれていたでしょう。当の僕は大学時代に覚えただけで、水中写真にとっぴりは

まり、のんびりと公務員ライフを満喫してしました。

そんな安泰な公務員生活も10年、平成の町村大合併を迎え、石見町も合併をし、邑南町(旧羽須美村・旧瑞穂町・旧石見町)となりました。

島根県は過疎発祥の地と言われます。邑南町も当時少子高齢化が急激に進み、元気がない状況でした。僕が住んでいる地域の保育所や小学校も廃園・廃校となり、身の回りの状況の変化に驚きました。それから、心を入れ替え、「何か町のためにできないか」と動き始め

たのです。実際やってみると、自分の力量のなさを痛感しました。

町の特産品である石見和牛肉を東京に売り込みに行く、年間200頭しか生産されないことを知らずに200頭分のヒレ肉の発注を2週間で受けてしまい、生産者を混乱させることもありまし

た。振り返るとおかしくなるような話ですが、当時は真剣そのものでした。

そんな中、欧州のミシュランの星付きレストランは地方にあるという新聞記事を読みました。日本のミシュランの星付きレストランは東京・大阪・京都など大都市に多く、地方は都市に食材を供給するにとどまっています。人口1万人の邑南町の少量多品目の農産物を逆手にとり、「邑南町にまでわざわざ食べに来る施策」A級グルメ構想」を打ち出しました。

23年には、町営イタリアンレストランAJIKURAを立ち上げました。「AJIKURAのランチは当時、島根県の中山

間地にありながら、銀座のランチよりも値段が高い」と話題を呼び多くのメディアに取り上げられました。

そして、基幹産業が農業の町だからこそ料理人を町で育成するというコンセプトで「耕すシェフ」という研修制度を創設しました。都会の料理人を呼び、町が滞在費を3年間支給して一流の料理人を育成する制度です。

合併して今年で15年を迎えますが、その成果も次第に出ていきます。町には直近3年間で870人の若者が移住し、23軒のお店も生まれました。

過疎の町から今では全国有数の「おいしい町」に生まれ変わったのです。僕がここまでできたのは、関わった町の人がいづも自分を後方で支援してくれたからだと思います。

「おいしいものは地方にあって、本当においしい味を知っているのは、地方の人間である」これが、僕の誇り(ビレッジプライド)です。

話題の図書



著者：寺本英仁 ブックマン社
本体価格 1600円+税
四六判

ビレッジプライド

「0円起業」の町をつくった公務員の話

「俺の町は田舎だから、夢も仕事もない」と思っている全ての人へ。それは違うよ。ないのは、あなたのアイデアと、プライドだ!これは本書の帯のコピーです。1971年生まれの寺本英仁さんはこう言います。「小学校の頃、先生が窓の外の農家の人

を指さして、お前たちも勉強しないと、お百姓さん

地方の誇りを高く掲げて

にしかねないぞ」と言っただけです。

しかし今、時代は大きく変化しました。老後まで楽しく働けるのは、圧倒的

に地方なのです。そのキーワードは「食」と「農」。今までおいしいものは、都会に流通させていました。そうではなく、「食べたい

のなら、うちの町まで食べに来て」と胸を張る。

この本は、決して町おこしの美談が書かれていないわけではありません。失敗と成功の多くの事例を紹介しながら、高齢化率43%の過疎の町がいかにして、「食」と「農」を求めて多くの人が訪れる《A級グルメ》の町に変貌していったのが、寺本氏ならではの素直でユーモラスな視点で描かれています。大切なのは、地元への誇り、そして、巻き込む力。彼の挑戦は、まだまだ続きます。

東京農大の本

申込先

東京農大出版会
〒156-8502 世田谷区桜丘1-1-1
電話 03-5477-1266
FAX 03-5477-2747

第三版 森林総合科学用語辞典



関岡 東生 監修
定価：本体 3800円 + 税
四六判変型・上製箱入り

◇森林を総合的に科学する人の基礎知識を深めてくれる。東京農大地域環境科学部で学ぶ人たちのテキスト。◇日本には豊かな森林資源がたくさんある。さあ、どう生かすのか。この辞典の中にヒントが潜む。

続・サイエンス小話

身近な食物から好奇心を育む本



中西 載慶 著
定価：本体 1380円 + 税
四六判・並製

◇人は何のために学ぶのか？それは自分自身の可能性に挑戦し、自分自身の潜在能力を見いだすためである。◇身近な食物の持つ魅力や特徴、先人の知恵や科学的真実、おもしろさや不思議さなどを伝えてくれる。

家庭菜園だからできる無農薬栽培

少し科学してみよう



古谷 正 著
定価：本体 1600円 + 税
B5判・並製

◇野菜はいつまくのか。肥料はどのように施すのか。有機肥料はなぜ良いのか。農業は使わないで作れるのか。収量、品質が不安定なのはなぜか。◇野菜の性質を知り、よく観察し適切な管理をするために。

わが家は低塩・無添加のお漬物

プロ技伝授



大島 貞雄 著
定価：本体 1600円 + 税
B5判変・並製カラー

◇初心者でもおいしい漬物を作り、食生活を楽しむために。◇家庭に本物の漬物を届けるため、本物の漬物をつくる漬け方のコツ、知恵を説いている。プロの技をつかんでほしい。

旨みを醸し出すー麴のふしぎな料理力



前橋 健二・浅利 妙峰 著
定価：本体 1200円 + 税
A5判・並製・カラー

◇麴を知る本の決定版。麴の力を知って、食材を生かす。身近な料理を演出してみて下さい。◇前橋健二教授の科学の目、浅利妙峰こうじ屋女将の伝統の目で、秘められた麴の力を説く。麴を使った簡単に作れるレシピ満載。

心とからだをもっと元気にー二十四節気を楽しむ薬膳



薬膳健康づくり研究会 編著
定価：本体 2400円 + 税
A4判変・並製・カラー

◇健康長寿の食養生を学ぶ。◇節気に合わせた168品・24献立を紹介。◇立秋からの節気では「ざるそばのトウガン入つゆ」「にがりのチーズ入肉詰め」など。お薦めは「うなぎの山かけ丼」、この時節ならではの料理が登場する。

東京農大経営者フォーラム2019受賞者

経営者大賞 (五十音順)			
諸 広司	昭和59年3月 農学部栄養学科 栄養学専攻卒業	株式会社ソーキ 代表取締役社長	食品製造業
境谷 一智	平成9年3月 生物産業学部 生物生産学科卒業	有限会社豊心ファーム 代表取締役社長	米作農業
境谷 稔顕	平成14年3月 農学部農学科卒業	有限会社豊心ファーム 取締役常務	米作農業
中尾 強志	昭和60年3月 農学部醸造学科卒業	中尾醸造株式会社 代表取締役社長	酒造業
経営者賞			
安藤 豪敏	平成12年3月 農学部林学科卒業	安藤山林緑化株式会社 取締役会長	樹木育苗業等
安藤 啓太	平成21年3月 国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科卒業	安藤山林緑化株式会社 代表取締役	樹木育苗業等
経営特別賞			
柳下 君子	昭和47年3月 短期大学栄養科卒業	有限会社グレース商事 取締役	不動産

経営者大賞に4氏 11月29日にフォーラム

東京農大経営者フォーラム2019の経営者大賞が決まった。今年の経営者大賞は6件8人の推薦があり、審査委員会委員による書類審査と現地調査の結果、上表の方々が各賞を受賞する。表彰式は11月29日のフォーラムで行われる。フォーラムは、世田谷キャンパス・百周年記念講堂で午後1時から行われる。

ブラジル支部50周年を祝う

記念式典は多数の来賓が参列し盛大に開催された



記念式典で80人のエール

校友会ブラジル支部(原島義弘支部長)は7月28日、第47回慰霊祭と支部創立50周年記念式典を開催した。

日本から東京農業大学の

新部昭夫副学長、国際農業開発学

科・山田崇裕准教授、三

校友会台湾支部(鄭耀星支部長)は8月24日、第17回2019年度支部総会を台中市内のホテルで開いた。日本から新部昭夫副学長ら大学関係者の他、九州地区と関東地区の校友ら11人が参加、総勢約80人が集った。同支部総会

台湾支部と日本の校友が交流

農大留学生増やしたい

年開いており、台北市、台中市、高雄市と順番に開催している。進行は藍蒼洲幹事長が行った。

台湾支部の鄭支部長は「現在、台湾から農大への留学生は8人、ピーク時には56人いた。私たちが農大の良さを積極的にPRし

シル支部に敬意あふれる賛辞を頂いた。支部からも大学、法人、校友会にお礼の記念品を贈呈し、大学から文化協会に賛助が渡された。式典の締めくくりは恒例の学歌斉唱。原島支部

長のエールで80人を超える参加者の歌声が響いた。親睦会は鏡割りで始まり、福島県喜多方市の校友の日本酒で乾杯し、来賓と校友が和やかに、母校の発展を喜び、同窓の旧友と先達を拝し、生を尊び、再会の約束を交わしていた。(ブラジル支部・戸国達夫幹事長)

う機会にと、翌25日に台北市内で農大の説明会を行う。農大としては、海外で行う初めての説明会で、今後毎年行いたい」と述べた。

校友会の豊原秀和副会長は、海外15カ国・地域の支部が設置されており、海外との交流を進めていくと今回実施したとし、「海外の留学生についても校友会の活動を通して確保していきたい」と強調した。

大に留学後、母国の大学や食品業界など、各界で活躍している姿が語られた。日本の校友も一人一人紹介を受け、懇親会では両国の校友が大いに語り合うことができ、思い出深い交流となった。

農大と国立中興大学(台中市内)は1992年に大学間協定を締結、台湾校友は農大からの短期留学に全面的に協力している。

総会終了後、引き続き台湾教育後援会が開かれ、農大現役学生と父母らが参加した。



歓迎会に参加した台湾・日本の校友

経営者会議

福井で異業種交流会 越前の文化学ぶ

令和元年度(第18回)東京農大経営者会議異業種交流会が9月6〜8日、福井県で開催され、東京農大経営者会議(新田恭一郎会長)の会員ら31人が参加した。

今回の異業種交流会は、元東京農大で現在福井県立大学長の進士五十八先生のアドバイスとご協力の下企画され、越前の自然・歴史・文化を学ぶ見学や経営をテーマにした複数の講演があった。

1日目は石川県金沢市にある仏教哲学者の鈴木大拙の記念館を見学。次に永平寺町にある福井県立大学永平寺キャンパスを訪問し「地方の公立大学の経営革新と地域貢献」のテーマで進士学長に講演していただいた。来春の創造農学科の新設など、進士学長のチャレンジしていることについてお話しを伺った。

その後、勝山市にある福井県立恐竜博物館を見学した。1日目の宿泊地は永平寺親禅の宿「柏樹閣」。この宿泊施設は永平寺がインバウンド向けに今年8月に開業した高級ホテルで、今回は全館貸し切りだった。



異業種交流会に参加した東京農大経営者会議会員ら(福井県立大学地域経済研究所前で)

た。朝食後に永平寺監院の小林昌道老師に「お寺の経済論」のテーマで講演いただいた。午前中は一乗谷朝倉氏遺構を見学、午後は三方五湖にある福井県立年縞博物館と若狭三方縄文博物館を見学した。年縞とは長い年月の間に湖沼などに堆積した層が描く特徴的な縞模様様の湖底堆積物のこと。ここには7万年前の年縞が展示されていた。

その後、敦賀市の100年企業で幼稚園保育園の遊具や教材の企画製造販売を中心に全国で事業展開する(株)ジャクエツを訪問し、製品やモデル園を見学した。宿泊先のホテルでは同社の徳本達郎社長から会社の理念や方針、またそれを事業にどう落とし込んでいくかについてお話を伺った。

2日日夜の懇親会は進士先生、徳本社長も交えて、参加者一同の交流を深めることができた。3日目は自由行動とした。参加者からは今までの異業種交流会の中で一番印象に残ったという感想が寄せられた。(東京農大経営者会議・高塚敏)

2016年に結成したインドネシア支部は、2月23日に西ジャワ州ボゴール市内で総会を開催し、19年

ジャロ氏（ボゴール農科大学、平19院）博）を選出した。ジャロ氏は1998年に生物企業情報学科に入

学した特別留学生1期生（インドネシア支部・シ

若手卒業生が農業・経済分野で活躍

インドネシア支部活発に活動



8月24日ボゴール市内でインドネシア支部の懇親会を開催した

支部だより



で、その後ボゴール農大から毎年、特別留学生在が東京農大で就学している。

校友会支部のメンバーは25人で、その多くが若手の卒業生によって構成されており、インターネット会員制交流サイト（SNS）で活動を紹介している。

校友の多くは、大学や民間企業の農業や経済の分野で活躍しており、新たに入学する特別留学生候補者に東京での生活や勉学のアドバイスをを行う他、調査研究のためにインドネシアを訪れる農大教員と交流を深めてきた。

8月24日には国際食糧科学科の宮浦理恵教授らの訪問に合わせて懇親会を開催し、西ジャワ各地から集まった校友が情報交換し親交を深めた。



中国支部の仲間が交換留学生を歓迎した

（中国支部・曹斌副支部長）

中国支部が交換留学生の歓迎会

経済、開発、醸造などの専攻10人の学生と中国農業大学の担当者が参加した。

東京農業大学・中国農業大学交換留学生歓迎会が8月30日、北京市内で開催された。東京農業大学大学院農学研究科農業経済専攻の朱盟さんをはじめ、

校友会中国支部の曹斌副支部長（平17院）が司会。林森幹事長（平16院）は校友会中国支部の概況を紹介した。また北京O B会（北京支部）の呉守蓉会長、于蓉蓉幹事長（平28院）が自己紹介した後、歓迎会を開始した。

就活体験紹介も

山口県支部総会

校友会山口県支部（佐伯誠支部長・昭49工）は8月24日、山口市「防長苑」で支部総会を開いた。来賓として食品安全健康学科の上原万里子教授（校友会理事）を招き、校友39人が参加。

佐伯支部長のあいさつ、来賓紹介の後、議事に入り、平成30年度活動報告・収支決算、令和元年度収支予算が承認された。

続いて、上原教授が校友会活動と大学の近況を報告。校友からの情報提供では、山口市職員の義嶋理紗さん（平30経）が「就活体験」を紹介した。

総会の後、懇親会が開かれた。（山口県支部・白松英明幹事長）

支部総会開催一覧（平成31年4月～令和元年9月）

支部名	日程	出席者	参加者数	場所	講演等
		校友会	大学		
東京	4月20日 土	外園惇副会長	デザイン農学科長 長島孝行教授	106 世田谷区	「進化する東京農大：実学を目指すバイオデザイン」長島教授
兵庫	6月30日 日	萬歳章会長	食料環境経済学科 大浦裕二教授	61 神戸市	—
新潟	7月6日 土	萬歳章会長	生命科学部 長 矢嶋俊介教授	93 新潟市	「人生に農のある暮らしを一理もれた資源を掘り起こせ」高塚俊郎氏（平5経）
大分	7月6日 土	豊原秀和副会長	農学部 小川博教授	88 大分市	「6次産業化を目指したホロホロチョウ製品の開発」小川教授
高知	7月6日 土	小松山善経常任理事	—	45 高知市	—
千葉	7月7日 日	高野三郎理事	国際食農科学科 古庄律教授	79 千葉市	—
埼玉	7月7日 日	萬歳章会長	地域環境科学部 小梁川雅教授	83 川越市	「転換期における農学の役割—森林利用をめぐる—」地域創成科学科・宮林茂幸教授
鳥取	7月7日 日	石原憲一郎理事	国際食料情報学部 菅沼圭輔教授	37 米子市	—
和歌山	7月19日 金	清水重郎理事	国際農業開発科 中曾根勝重准教授	37 和歌山市	—
岡山	7月20日 土	萬歳章会長	—	41 岡山市	「ユーモア ヒット塾」(株)豊島屋代表取締役・大野豊氏（昭46農）
熊本	7月20日 土	豊原秀和副会長	地域創成科学科 本田尚正教授	60 熊本市	「備えあれば患い無し～自然災害から身を守るために～」本田教授
香川	7月21日 日	萬歳章会長	学校法人理事長室 上田勉室長	40 高松市	「東京農業大学創設者榎本武揚と八幡製鉄所」上田室長
愛媛	7月21日 日	荻茂壽太郎常任理事	—	46 松山市	「平成30年西日本豪雨災害について」愛媛県議会議員・兵頭竜氏（平11林）
秋田	7月21日 日	小松山善経常任理事	地域環境科学部 小梁川雅教授	35 秋田市	—
栃木	7月27日 土	小松山善経常任理事	森林総合科学科 江口文陽教授	76 宇都宮市	「きのこを科学する～きのこの基礎から加工食品開発まで～」江口教授
徳島	8月3日 土	吉田廣文常任理事	法人本部総務部 小畑幹夫部長	28 徳島市	—
佐賀	8月3日 土	上岡美保常任理事	学校法人 志和地弘信常務理事	48 佐賀市	—
富山	8月16日 金	吉田廣文常任理事	入試センター 高柳直センター長	34 富山市	—
沖縄	8月16日 金	豊原秀和副会長	豊原秀和名誉教授	48 那覇市	—
福岡	8月24日 土	榎谷禎則常任理事	応用生物科学部 本間和宏教授	46 北九州市	「環境教育の可能性～since2005 まほろば自然学校のあゆみ～」岩熊志保氏（平10短経）「多様性を活かす～女性カーデザイン～としての展開～」山中志保氏（平10造）
山口	8月24日 土	上原万里子理事	大学院農学研究科委員長 上原万里子教授	39 山口市	—
宮城	8月24日 土	小松山善経常任理事	国際食料情報学部 菅沼圭輔教授	30 仙台市	「中国の食料問題をどう読むか」菅沼教授
広島	8月25日 日	榎谷禎則常任理事	デザイン農学科 長島孝行教授	32 広島市	「作ってよし買ってよし地域の良しの農デザイン」長島教授
島根	8月25日 日	吉田廣文常任理事	醸造科学科・穂坂賢教授	36 松江市	—
鹿児島	8月31日 土	荻茂壽太郎常任理事	造園科学科・高橋新平教授	50 鹿児島市	「南大隅村と農大の交流事業について」梅本涼子氏（平10開）
青森	8月31日 土	萬歳章会長	森林総合科学科 上原敏教授	50 青森市	「森林と健康（青森の森林で健康づくり）」上原教授
岐阜	8月31日 土	榎谷禎則常任理事	学長室・浅野康之次長	50 岐阜市	「農業高校における担い手育成への挑戦」中島浩平氏（県立加茂農林高校教諭、昭60林）、中野輝良氏（県教育委員会、平9農）
神奈川	9月7日 土	荻茂壽太郎常任理事	農学部 小川博教授	73 厚木市	「コンビニ弁当20年間調査より見えてきた食育」堀口恵子氏（東京農業大学客員教授、昭47化）
長野	9月8日 日	荻茂壽太郎常任理事	生物産業学部 吉田穂積教授	32 松本市	—
京都	9月14日 土	上岡美保常任理事	国際食農科学科 上岡美保教授	32 京都市	—
長崎	9月14日 土	長倉春義理事	大学・手島秀樹事務局長	27 大村市	—
茨城	9月15日 日	吉田廣文常任理事	学校法人・大澤寛寿理事長	71 水戸市	「東京農大の現状と課題」大澤理事長
三重	9月15日 日	清水重郎理事	大学院生物産業学研究科委員長・塩本明弘教授	35 津市	「北海道と温暖化」塩本教授
愛知	9月21日 土	小松山善経常任理事	国際農業開発学科 杉原たまえ教授	31 名古屋	「日米英景観園芸交換研修プログラムに参加して」加藤明子氏（平14農）

ブロック会議開催（予定）

ブロック	当番支部	日程	場所
北海道・東北	岩手県支部	10月26日（土）	15:00～ 花巻温泉千秋閣（花巻市内）
関東・甲信越	長野県支部	11月10日（日）	14:30～ メルパルク長野（長野市内）
北陸・東海・近畿	京都府支部	10月19日（土）	14:00～ エルシエント京都（京都市内）
中国・四国	愛媛県支部	11月9日（土）	14:00～ 東京第一ホテル松山（松山市内）
九州	佐賀県支部	11月16日（土）	14:00～ 旅館あけぼの（佐賀市内）

校友会代議員 <令和元年9月末現在>

代議員区分	氏名	卒業年学科	福井県	〃	〃	津谷 正俊	昭44工	〃	竹内 良	昭43工	山梨県支部推薦	内田多加夫	昭47院化修	〃	倉窪 努	昭45造
校友会会長推薦	浅野 康之	昭63林	岐阜県	〃	〃	宮崎 一彦	昭50林	〃	鳥海 稔雄	昭35農	〃	野中 修	昭48林	和歌山支部推薦	芝 吉信	昭51造
〃	上原 巖	昭63林	静岡県	〃	〃	板垣 允俊	昭42造	〃	藤代 李七	昭40経	〃	宮川 俊一	昭45農	〃	大浦 俊一	昭53農
〃	上原万里子	昭63院農博	愛知県	〃	〃	竹内 徳郎	昭34経	〃	宗政 恒興	昭50農	長野県支部推薦	小椋 勇人	昭57畜	鳥取県支部推薦	前田 幸己	昭47拓
〃	大場 淳一	昭56造	三重県	〃	〃	工藤 隆	昭48工	〃	村石 愛二	昭51経	〃	関 貞徳	昭44林	〃	山根 章司	昭55経
〃	緒方 和彦	昭63林	滋賀県	〃	〃	清水 重郎	昭47工	福島県支部推薦	湯橋 勤	昭52農	〃	深谷 淳	昭45経	鳥根県支部推薦	安藤 彰浩	昭45農
〃	小野 甲二	昭47経	京都府	〃	〃	小島 義治	昭45造	〃	青柳 義昭	昭47造	〃	前田 善男	昭46農	〃	周藤 康令	昭53農
〃	小畑 幹夫	昭60造	大阪府	〃	〃	南部 一郎	昭44農	〃	石川 公一	昭42農	新潟県支部推薦	木村 道雄	平02畜	岡山県支部推薦	武田 一昭	昭54造
〃	梶山 孝泉	昭58拓	兵庫県	〃	〃	石原憲一郎	昭45造	茨城県支部推薦	江森 忍	昭62化	〃	後藤 雄行	昭48造	〃	広瀬 洋一	昭51経
〃	上岡 美保	平13院経博	奈良県	〃	〃	杉本 義明	昭45工	〃	太田 信子	昭42栄	〃	小林江利子	昭46農	広島県支部推薦	胡本 進	昭43短農
〃	佐藤 広顕	平4院化博	和歌山県	〃	〃	山下 裕	昭50拓	〃	大矢四十六	昭45院化修	〃	本間 和弥	昭45化	〃	河原 直司	昭56拓
〃	鈴木貢次郎	平4院造修	鳥取県	〃	〃	牧田 政人	昭41農	〃	岡野 正和	昭59造	富山県支部推薦	井幡 潔	昭45経	〃	長原 毅	昭41農
〃	高柳 和直	平01経	島根県	〃	〃	堀江 康輔	昭43林	〃	風岡 洋二	昭43工	〃	広田 祐一	平01工	山口県支部推薦	山本 俊夫	昭45経
〃	手島 秀樹	昭58農	岡山県	〃	〃	赤澤 猛	昭44農	栃木県支部推薦	神田 昌幸	昭49短農	石川県支部推薦	上坂 英善	昭42経	〃	義満 謙二	昭44農
〃	豊原 秀和	昭47拓	広島県	〃	〃	竹重 博樹	昭44農	〃	黒田 充	昭56畜	〃	高井 治	昭39畜	徳島県支部推薦	中西 信男	昭53経
〃	長島 孝行	昭58院農博	山口県	〃	〃	佐伯 誠	昭49工	〃	後藤 隆子	昭49栄	福井県支部推薦	岩居 俊伸	昭60化	〃	三木 芳典	昭58工
〃	萬歳 章	昭43農	徳島県	〃	〃	佐竹 弘道	昭44経	〃	清水 陸央	昭46経	〃	中塚 文和	昭44工	香川県支部推薦	山本 隆	昭43農
〃	藤枝 隆	昭56農	香川県	〃	〃	大森 薫之	昭45工	群馬県支部推薦	高橋 信茂	昭45畜	岐阜県支部推薦	青木 宏達	昭54造	〃	横田 和幸	昭45経
〃	古庄 律	昭62院化修	愛媛県	〃	〃	市川 貞男	昭47化	〃	田口 素	昭36経	〃	内藤 邦雄	昭53農	愛媛県支部推薦	池内 剛三	昭49造
〃	荻茂壽太郎	昭48造	高知県	〃	〃	西岡猪一郎	昭45経	〃	難波江 豊	昭39経	静岡県支部推薦	福木 浩之	昭44化	〃	山下 重蔵	昭48経
〃	山本 祐司	平3院化修	福岡県	〃	〃	木部 穰	昭50畜	〃	根岸 昭子	昭51栄	〃	西島弘一郎	昭45造	高知県支部推薦	池 泰延	昭47農
北海道支部長	早坂 有弘	昭49造	佐賀県	〃	〃	古川 繁樹	昭49工	〃	樋口 稔	昭44拓	〃	平岡 知明	昭55農	〃	下川 一彦	昭61経
青森県	佐藤 晋也	昭52農	長崎県	〃	〃	田添 利弘	昭44工	〃	本岡 惇	昭42工	〃	福井 啓介	昭35造	福岡県支部推薦	牛嶋 泰樹	昭52造
岩手県	千田 武宏	昭43拓	熊本県	〃	〃	阿曾田 清	昭44工	〃	宮崎 健三	昭39農	〃	望月 俊明	昭47農	〃	甲斐千登志	昭60栄
宮城県	渡邊 康夫	昭39工	大分県	〃	〃	加藤 早苗	昭48農	埼玉県支部推薦	大河内裕之	昭37短農	〃	望月 康弘	昭62農	〃	吉原 文明	昭54農
秋田県	中田 雅俊	昭46林	宮崎県	〃	〃	長倉 春義	昭45経	〃	川俣 好子	昭46造	神奈川支部推薦	市川 重男	昭61農	愛知県支部推薦	荒木 義哉	平01拓
山形県	佐々木藤正	昭39農	鹿児島県	〃	〃	宮原 寛明	昭58経	〃	梅田ひろ子	昭43米	〃	内田 拓秀	昭51造	〃	吉岡 靖博	昭53工
福島県	満山 喜一	昭49経	沖縄県	〃	〃	川満 信男	昭51畜	〃	鎌和田 茂	昭56化	〃	佐々木辰夫	昭61造	長崎県支部推薦	市丸 浩	昭51拓
茨城県	高野 三郎	昭43院化修	北海道支部推薦	〃	〃	角田 孝純	昭53造	〃	加来 功	昭61畜	三重県支部推薦	石川 哲章	昭44農	〃	萩尾 義則	昭54造
栃木県	鈴木 崇之	昭50農	〃	〃	〃	篠原 寛明	昭58林	〃	神田 務	昭49造	〃	玉田 晃也	昭49農	熊本県支部推薦	栗崎 秀人	昭36経
群馬県	反町 功夫	昭40畜	〃	〃	〃	西松 裕司	昭50経	〃	坂本 政美	昭43造	滋賀県支部推薦	川崎 佐剛	昭54経	〃	鶴田 秀平	昭45農
埼玉県	吉田 廣文	昭47林	〃	〃	〃	若松 正美	昭56工	〃	清水 圭一	昭46造	〃	澤藤 弥平	昭53経	〃	吉田 秀順	昭44経
千葉県	丸 豊	昭43工	青森県支部推薦	〃	〃	大谷 卓司	昭56化	〃	鈴木 美伸	昭49農	京都府支部推薦	伊藤 義男	昭52工	大分県支部推薦	佐保 暁	昭46林
東京都	岡本 利隆	昭56工	〃	〃	〃	小笠原萬三	昭42工	〃	関 恵梨子	昭50米	〃	藤田 洋嗣	昭41化	〃	三浦 盛久	昭47造
神奈川県	加藤 恒雄	昭47畜	岩手県支部推薦	〃	〃	鎌田 定悦	昭52造	〃	関野 博光	昭44造	大阪府支部推薦	佐々木洋一	昭49畜	宮崎県支部推薦	若切 順次	昭43経
山梨県	小野 修一	昭41造	〃	〃	〃	藤尾 東東	昭44畜	〃	武井 常廣	昭36造	〃	西村 雅史	昭49造	〃	鈴木 隆	昭45経
長野県	伊澤 宏爾	昭39畜	宮城県支部推薦	〃	〃	永井 博	昭47工	〃	中山 大海	平03農	兵庫県支部推薦	椿野 健次	昭61経	〃	有村 勝則	昭53造
新潟県	鈴木 均	昭47工	〃	〃	〃	早坂 薫	昭41化	千葉県支部推薦	石井 睦弘	昭49林	〃	寺田 又康	昭59経	〃	廣森 徹	昭47造
富山県	石坂 和夫	昭45経	〃	〃	〃	山田龍太郎	昭49拓	〃	李代 鉄幸	昭45畜	〃	橋口 誠	昭45工	沖縄県支部推薦	平良 憲一	平03拓
石川県	安田舜一郎	昭42農	秋田県支部推薦	〃	〃	佐々木 仁	昭42造	〃	持田 文男	昭48造	奈良県支部推薦	奥中 孝俊	昭47工	〃	玉那覇美佐子	昭46短農

(注)校友会会長推薦(会則第15条第1号代議員)

支部長(同第3号代議員)

都道府県支部推薦(同第2号代議員)

(任期 令和元年5月25日～4年間)

女性部会が設立

長野県支部

校友会長野県支部では長年の懸案であった「女性部会」が、9月8日の設立総会を経て新たにスタートした。

設立総会には女性会員8人とオブザーバーとして伊澤宏爾支部長、前田善男幹事長が出席。議題として①女性部会設立経過報告②女性部会会則の承認③女性部会の役員―について協議し、会長に前田美智子氏（昭38短大）、副会長に伊藤郁子氏（昭39短大）を選出した。

前田美智子会長は就任あいさつで今後の活動への決意を表明した。その後、出席者全員が自己紹介した。

介、近況報告し、和やかで有意義な情報交換ができた。

近年、母校農大に学ぶ女性比率が高まっており、校友会での比率も向上している。女性会員による活発な活動に期待が高まっている。（長野県支部・前田善男幹事長）



設立総会に集った女性会員

学校教職員が一堂に

新潟県支部松風会が総会

新潟県支部松風会（中野忠雄会長）は6月29日、新潟市内で総会と講演会を開いた。来賓および講師にデザイン農学科の谷口亜樹子教授を迎え、新潟県支部の鈴木和夫支部長（昭47工）、木村道雄幹事長（平2番）も出席した。高校14人、義務教育4人、OB2人、計22人が参加した。

松風会では、新潟県内の小学校、中学校、高等学校、専門学校に勤務する校友で組織し、学歌一番の冒頭『常磐の松風』にちなみ松風会とした。会員数は100人余を数え、新潟県支部内の職域団体として活動している。

講演会では、谷口教授が「デザイン農学科の紹介と研究活動・地域連携・大学の近況について」と題して講演。農大の近況、特に厚木キャンパスの様子や7月に完成した新実験・実習棟、平成30年4月に開設されたデザイン農学科のカリキュラムや研究室の構成などを詳しく教えていただいた。今後、私たちが教育現場で生徒に対し進路指導を行う上で、大きく役立った。

また、谷口教授から

は専門の未利用資源の活用などについて詳しく解説していただき、私たちが教育現場で研究活動を行うためのヒントやアドバイスを与えていただいた。さらに、お土産として谷口教授が学生と一緒に作ったピクルスをいただいた。（新潟県支部松風会・中野忠雄会長）

校友会情報

住所変更などのご連絡

校友会では卒業生名簿（原簿）の整備を進めています。勤務先の異動・変更などで多くの会員が住所不明となっています。住所変更や改姓をされた会員は、次のいずれかによりご連絡願います。

①校友会ホームページに新しく「会員名簿変更

フォーム」を設置しました。スマートフォンから入力できます。

②「東京農業大学校友会のしおり」最終ページのはがき「会員名簿変更連絡票」で連絡ください。

③校友会HPの「会員名簿変更届」に記入いただき、FAXでお送りください。

支部総会・教職員部会などにご参加を

都道府県支部では毎年支部総会や教職員部会、女性部会など、多くの職域部会・分会が開かれています。母校の発展・変貌している姿や運動部の活躍など、農大の近況を知る機会

新会員の姿に元気をもらう

秋田県支部

秋田県支部（中田雅俊支部長・昭46林）は7月21日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で令和元年度通常総会を開催した。

来賓として校友会本部から小松山善継常任理事、大学から地域環境科学部



秋田県支部（中田雅俊支部長・昭46林）は7月21日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で令和元年度通常総会を開催した。

の小梁川雅学部長（生産環境工学科教授）に出席していただいた他、校友や同日開催の教育後援会地方懇談会参加の保護者と在学生ら計35人が参加した。

総会では、前年度の活動報告と収支決算など全議案が承認された。

懇親会では高橋圭太さん（平28開）が司会進行。今春卒業後、地元に戻り農業を営んでいる遠藤翔太さん（平31開）と渡辺優香さん（平31開）が新会員として近況報告し、将来の秋田県支部を支える若者の姿に元気をもらった。

恒例の「青山ほどり」では、渡会諭さん（平15米）のリーダーで会場の全員が葉付きダイコンを手を持ち輪になって踊った。その後、伊藤暢さん（昭44経）

グリーンアカデミーホール（校友会館）のご利用案内

グリーンアカデミーホール（校友会館）は大学敷地の西端にあり、学生寮に隣接する緑豊かな閑静な場所にあります。

会館内には、安価でご利用できる休養室（洋室ソイン2室、和室15畳2室）や

予約は6カ月前の月始めから受け付けています。平日午前8時半から午後5時まで。ご希望の方は、電話、FAX、メールなどで校友会本部にご連絡ください。TEL 03（3439）1983

2月21日に全国支部長会議

令和元年度全国支部長会議が令和2年2月21日（金）午後1時から、世田谷キャンパスの横井講堂で開催される。ブロック会議の結果報告や全体討議などが行われる。

会員の動静

慶

と宮崎一彦副支部長（昭50林）によるエール合戦が繰り広げられた。（秋田県支部事務局・武田農）

4月以降、支部などからの報告のみ記載

- 次の方々が逝去されました。謹んで哀悼をお祈り申し上げます。
- 岡 正隆氏（昭50工）
 - 佐賀県支部
 - 平成31年4月7日
 - 三廻部 眞己氏（昭31農）
 - 神奈川県支部
 - 令和元年5月10日
 - 磯山 和男氏（昭28学経）
 - 茨城県支部
 - 5月21日
 - 鹿熊 安正氏（昭22専村経）
 - 富山県支部
 - 6月2日
 - 巻島 克之氏（昭24専農）
 - 東京都支部
 - 6月17日
 - 伊藤 竹雄氏（昭26学経）
 - 東京都支部
 - 7月24日
 - 永野 剛氏（昭30化）
 - 千葉県支部
 - 7月27日
 - 武藤 信行氏（昭36畜）
 - 福岡県支部
 - 6月21日
 - 梅原 武敏氏（昭43工）
 - 神奈川県支部
 - 7月28日
 - 鈴木日出男氏（昭32化）
 - ブラジル支部
 - 9月14日
 - 福田 明人氏（昭31緑）
 - 東京都支部
 - 9月16日
 - 松原 徳夫氏（昭33工）
 - 埼玉県支部
 - 9月21日
 - 新沼 勝利氏（昭45院経博）
 - 東京都支部
 - 9月22日
 - 麻生 悌三氏（昭36拓）
 - ブラジル支部
 - 10月4日
 - 加藤 剛史氏（平23応生）
 - 静岡県支部
 - 10月8日

校友会功労表彰者

— 退任本部役員 —

東京農業大学校友会表彰規程に基づき、本部理事・監事および支部幹事長・支部長を通算10年以上勤め、校友会活動に顕著な功績を残された次の6人を校友会功労者として表彰することを決めました。

感謝状は令和元年度の本部常任理事会および支部総会で伝達。

- 三好 吉清氏（昭36農） 常任理事 27年（令和元年）（通算16年）
- 副会長 19年（昭和23年）
- 千葉県支部幹事長 昭和60年（平成15年）
- 同支部長 15年（令和元年）（通算34年）
- 小泉 幸道氏（昭48農） 常任理事 平成15年（昭和19年）
- 副会長 19年（令和元年）（通算16年）
- 宮林 茂幸氏（昭50林） 監事 平成15年（昭和19年）
- 副会長 27年（令和元年）（通算16年）
- 横澤 馨氏（昭38経） 監事 平成19年（昭和23年）
- 副会長 23年（令和元年）（通算12年）
- 群馬県支部幹事長 昭和59年（平成8年）
- 同支部長 平成19年（昭和31年）（通算24年）
- 鳥海 稔雄氏（昭35農） 理事 平成15年（昭和19年）

農友会 活動



準決勝で明治大学と対戦＝6月16日、神宮球場

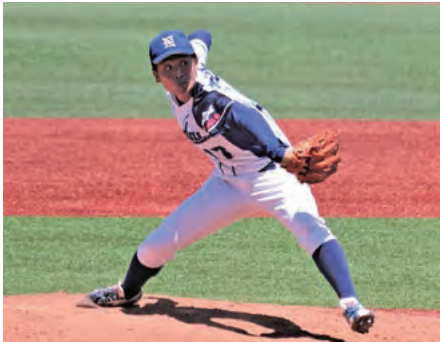
史上初のベスト4! 全日本大会で「特別賞」



先発した林虹太投手(自然1)＝明大戦



初回に本塁打を打った新宅優悟選手(産経4)＝同



好投した伊藤菜央投手(自然1)＝同



スタンドから校友、現役学生らが声援を送った＝同

第68回全日本大学野球選手権大会(6月10～17日、神宮球場・東京ドーム)

体育団体
オホーツク硬式野球部Ⅱ
強化指定部

1回戦・近大工学部を6-1、2回戦・大阪体育大を3-2と逆転で勝ち上がり、準々決勝は城西国際大を8-1とコールドゲームで勝利し、初の4強入り

とした。準決勝は東京六大学野球連盟代表の明治大学(今大会優勝校)と対戦。残念ながら1-5で敗退したが、本大会出場16

回目での初のベスト4に輝いた。全日本大学野球連盟から、今大会の「特別賞」を受賞した。神宮球場には多くの校友、保護者、現役学生が応援に駆け付け、熱い声援を送った。

2連敗後、残りを全勝。同率1位によるプレーオフに勝利し優勝。北海道学生野球連盟代表として第68回全日本大学野球選手権大会に出場が決定。

北海道学生野球秋季リーグ(8月24日～9月22日)全勝優勝し、明治神宮野球大会の出場権をかけた北海道代表決定戦に進出。

全勝優勝し、三垣監督を胴上げする北海道オホーツクナイン

10年連続で全日本大会出場権を獲得

場、農大はシード校として2回戦から登場。順調に勝ち進み第5位(敢闘賞受賞)となり、10年連続の全国大会出場権とシード権を獲得した。

全国大会は10月27日、千葉ポートアリーナで開催。

ボクシング部

第72回関東大学ボクシングリーグ戦(5月11日～7月13日、後楽園ホール)

最終戦の日本大学で勝利し、リーグ戦5戦全勝でチームを牽引した韓主将

負けたものの日本大などに勝利し4勝1敗で3位。

主将の韓亮昊(バンナム級、ビジネス4)が5戦全

勝でチームを牽引、階級賞を受賞した。

松本圭介(バンナム級、ビジネス2)と宇佐美正パトリック(ウエルター級、ビジネス1)も4勝1敗と健闘した。

韓主将が金メダル

第9回台北市カップ国際トーナメント(8月16～18日、台湾・台北市)バンナム級に農大の韓亮昊主将が出場、金メダルを獲得した。

全関東学生ジムカーナ選手権大会(5月26日、富士スピードウェイ)女子個人の部4位、林夏生

全日本学生空手道選手権大会(5月5日、日本武道館)西村宇恭(経3)が全日本学生空手道選手権大会(個人戦)への出場権を獲得。西村選手は4回戦で惜しくも敗退したが、その後の全日本出場決定戦で勝利し、5年ぶりに出場権を獲得した。

第38回全日本大学ホッケー王座決定戦(7月4～7日、関東第4代表として出場し、1回戦で関西学院大と対戦、0-3で敗れた。

自動車部

全関東学生運動競技選手権大会(3月10日、府中運動場)男子個人の部/小型貨物の部西5位、中込慧太(工4)、女子個人の部/小型乗用の部準優勝、林夏生(経4)



自動車部の部員たち

空手部

第47回関東大学空手道選手権大会(5月5日、日本武道館)

2019関東学生ホッケー春季1部リーグ(4月6日～5月25日)

予選プールを2勝1敗で2位通過。順位決定予選で山梨学院大(Bプール1位)と対戦し1-6で負け、3位決定戦で早稲田大と対戦し1-1、シュートアウト0-2で負けて4位。

ホッケー部男子

2019関東学生ホッケー春季1部リーグ(4月6日～5月25日)予選プールを1勝2敗で3位通過。順位決定予選で東京大学(Aプール4位)と対戦して1-0で勝ったが、5位決定戦で慶應義塾大学(Bプール4位)と対戦し2-3で負け6位。

剣道部

第68回関東学生剣道優勝大会(9月15日、川崎市とろきアリーナ)

2勝10敗2分で最下位。3部優勝の正大との入れ替え戦(6月25、26日)の結果、2勝で残留が決定。入れ替え戦の1回戦は5-2、2回戦では二塁打5本を含む15安打の猛攻で9-0と圧勝した。

10年連続で全日本大会出場権を獲得

全国大会出場をかけて、関東連盟所属の93大学が出

場、農大はシード校として2回戦から登場。順調に勝ち進み第5位(敢闘賞受賞)となり、10年連続の全国大会出場権とシード権を獲得した。

全国大会は10月27日、千葉ポートアリーナで開催。



第5位、敢闘賞受賞の農大剣道部

場、農大はシード校として2回戦から登場。順調に勝ち進み第5位(敢闘賞受賞)となり、10年連続の全国大会出場権とシード権を獲得した。

全国大会は10月27日、千葉ポートアリーナで開催。

馬術部

第56回東都学生馬術競技大会(3月22～24日、津久井馬術競技場)
新人障害飛越競技5位
福島ひとみ(食農1)
団体4位。一般障害飛越競技3位。深水翔平(創成1)、4位。福島ひとみ。新人馬場馬術競技3位。深水翔平、4位。福島ひとみ。団体2位。複合馬術競技2

位。鵜飼勇希(造3)、学生賞典馬場馬術競技2位。鵜飼勇希。団体総合優勝。第11回関東学生レースホースカップ馬術大会(4月13日、津久井馬術競技場)
第4位。深水翔平(創成2)
第54回関東学生賞典障害飛越競技大会(6月20、21日、山梨県馬術競技場)
5位。福島ひとみ



東都大会で団体総合準優勝した馬術部員ら

勝。第89回関東学生馬術争覇戦(8月31日～9月1日、津久井馬術競技場)
1部1回戦で慶応義塾大に、2回戦では日本大に勝利した。決勝で麻布大に敗れたが、堂々の準優勝。優秀選手に福島ひとみが選出された。

相撲部

第57回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会(5月26日、和歌山県宮相撲場)
団体3位。
第98回東日本学生相撲選手権大会(6月9日、両国国技館)
団体Aクラスベスト8。
第46回東日本学生相撲個人体重別選手権大会(7月21日、靖国神社相撲場)
65kg未満級ベスト8。久保田龍(経1)▽無差別級ベスト8。日下雄斗(工3)。

第54回全日本大学選抜相撲十和田大会(8月14日、十和田市相撲場)
個人戦で丸山紘史(開3)が勝ち進みベスト16。
第44回全国学生相撲個人体重別選手権大会(9月1日、靖国神社相撲場)
85kg未満級ベスト8。岩田翔(森1)▽無差別級ベスト8。日下雄斗。他に65kg未満級に久保田龍、115kg未満級に有瀬大騎(開3)、135kg以上級に白山征篤(森3)が出場した。

レスリング部

平成31年度ジュニアアクイーンズカップ・レスリング選手権大会(4月2、3日、駒沢体育館)
女子ジュニア59kg級で杉山絢海(ビジネス2)が準優勝した。
2019年アジア・ジュニア選手権大会(7月9～14日、タイ)



銅メダルに輝いた杉山選手(表彰台右端)

女子59kg級に杉山絢海が出場。3位入賞し、初の国際大会出場で銅メダルを手にした。

2019年東日本学生リーグ戦(5月13～15日、駒沢体育館)
2部リーグ戦で4勝2敗とし3位。

ボクシング部

第107回関東学生パワートライニング選手権大会(5月11、12日、東京大学駒場)
(女子)52kg級優勝。寺山陽葵(生命3)
(男子)59kg級準優勝。吉澤知宏準優勝(森3)▽74kg級準優勝。大石航平(化4)▽83kg級優勝。岡野太郎(経4)、4位。六車淳(森3)▽105kg級3位。長洞碩孝(造2)▽団体戦の部準優勝。寺山陽葵は女子最優秀選手賞を受賞した。



関東選手権大会で活躍した部員たち

第46回全日本学生パワートライニング大会(5月13～15日、駒沢体育館)
2部リーグ戦で4勝2敗とし3位。

文化団体

社交ダンス研究部

第118回東都大学学生競技ダンス選手権大会(4月14日、獨協大学)
団体5位、フォーメーション(8カップル16人で踊る)で3位。
雲林院正喜(醸4)・山崎瑠菜(栄4)組がクイックで4位、古田幸太郎(食農3)・片桐愛(バイオ3)組がサンバで3位、ルンバで5位。

フティング選手権大会(6月30日、阪南大学)
女子52kg級3位。寺山陽葵▽男子83kg級優勝。岡野太郎



第32回関東学生ラクロスリーグ戦(8月10日～11月、駒沢オリンピック公園他)
男子は2部Aブロックに出場、1部昇格を目指している。女子は1部Bブロックに出場している。

ラクロス部

第49回全関東学生弓道選手権大会(6月15、16日、日本武道館)
女子団体ベスト16。

フェンシング部

第72回関東学生フェンシング大会(6月15、16日、首都大学東京)
(団体)6位。

第20回皐月杯争奪学生競技ダンス選手権大会(6月16日、首都大学東京)
(シニアの部)サンバで佐藤輝明(ビジネス2)・西島夏帆(開2)組が5位。ルンバで濱野英樹(工2)・佐藤日菜(栄2)組が6位。シニアの部 鈴木凌(開2)・森本芽依(微生物3)組がワルツで6位、スローで57位。



第57回全日本学生選抜に出場した鈴木凌・森本芽依組

第14回東都日本学生競技ダンス前期新人戦(5月5日、団体成績で2位。
第104回東都日本学生競技ダンス選手権大会(6月2日、獨協大学)
フォーメーションで5位。古田幸太郎・片桐愛組がチャチャチャで5位、サンバで5位。



第104回東都大会でフォーメーション5位

弓道部

第49回全関東学生弓道選手権大会(6月15、16日、日本武道館)
女子団体ベスト16。

サッカー部

第72回関東学生サッカーリーグ戦(5月8日、15日、駒沢オリンピック公園 総合体育館)
男女共にエペ2部リーグに出場、男子は3勝2敗で3位、女子は1勝4敗で5位。

ラグビー部

2019関東理工系1部リーグ(5月12日～5月26日)
3戦全勝し、昨年に続き優勝。

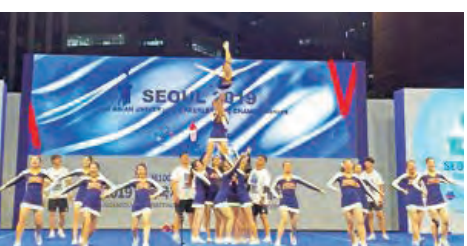


第104回東都大会に出場した古田幸太郎・片桐愛組

第45回松前重義杯争奪学生競技ダンス選手権大会(9月8日、東海大学)
(シニアの部)クイックで戸田太樹(食農3)・西山珠恵(栄3)組が5位。スローフォックストロットで藤ヶ崎半平太・林夕夏組が5位、戸田太樹・西山珠恵組が6位。クイックスで鈴木凌・森本芽依組、戸田太樹・西山珠恵組、藤ヶ崎半平太・林夕夏組が6位。

全学応援団チアリーダー部

第2回アジア大学チアリーディング選手権大会(8月24、25日、韓国・ソウル)
全学応援団チアリーダー部は、アジア大学スポーツ連盟(AUSF)主催「第2回アジア大学チアリーディング選手権大会」に日本代表として出場し、「Team Cheer University Elite All Female」部門で優勝した。



優勝した全学応援団チアリーダー部の演技

アリーディング選手権大会第一次選考会での演技を元に、日本スポーツチア&ダンス連盟から選出を受けて実現したもの。

今回の出場は昨年行われた「FISU 世界大学チ

都伝
杜の駅

富士山女子駅伝は出場権確保

陸上競技部女子
強化指定部

土山女子駅伝への出場権は確保した。

第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝）が10月27日、仙台市で行われた。昨年4位でシード権を確保し、7年連続、27回目の出場を果たした東京農大女子駅伝チームは、2時間10分42秒で10位。惜しくもシード権を逃したが、12月30日の2019全日本大学女子選抜駅伝（富士山女子駅伝）への出場権は確保した。



スタートした1区の保坂選手（中央）



力強い走りでもゴールに向かう大澤選手

同大会は弘進ゴムアスリートパーク仙台（仙台市

陸上競技場）をスタートして仙台市役所前市民広場までの6区間38・1キロ。シード校をはじめ地区予選を勝ち抜いた26チームが出場した。

東京農大チームは、1区の保坂野恋花（醸4）が8位で2区の平賀奏美（経3）につないだ。平賀も8位で3区の柴原佑紀（栄2）にたすきを渡したが、柴原は10位、4区の土田佳奈（健4）10位、各チームがエースを起用する5区の高橋ひより（森2）は11位と苦戦。6区の大澤由菜（ビジネス2）が順位を上げ10位でゴールした。

競技場や沿道には校友会の萬歳章会長をはじめ宮城県支部（渡邊康夫支部長）、全学応援団、農大常磐松クラブ（陸上競技部のOB会）や父母、大学教職員らが駆け付け、選手に大声援を送った。

この大会の主将を務めた柴原は「富士山女子駅伝では5位入賞を果たした」と次への決意を語った。長田千治監督は「選手たちはよく頑張った。たくさん課題があるが、一つ

一つ選手たちと話し合い、乗り越えていきたい。これから応援をお願いします」と述べた。

第98回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ、5月23〜26日）

ソーン（8月25日、ニューカレドニア・ヌメア）マラソン（42・195キロ）に小川奈々（経4）が出場し3位。

関東大学女子駅伝対校選手権大会（9月29日、千葉県印西市の千葉ニュータウン周回コース）東京農大チームは力走したものの6位となった。前年は優勝だったため少し残念だったが「故障上りの選手が多かったことを考えれば、無難にゴールしてくれた」（長田千治監督）結果となった。

1区では保坂野恋花が3位を確保したが、3区で

来年こそ突破に期待

今年も残念ながら箱根駅伝復活まで届かなかった。関係者は来年こそはと期待を持っている。第96回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の予選会が10月26日に、東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地スタート、国営昭和記念公園をゴールとするハーフマラソンのコースで行われた。予選会上位10校が箱根駅伝の切符を手に入れる予選会だが、東京農大は16位となり、本選出場には及ばなかった。

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10人が通過する順位では5キロ通過地点では基準を上回る7番目だったが、10キロ通過地点では順位を落とし10番目、15キロでは15番目となった。ゴール地点では10人通過は18番目だったが、正式なタイムで16位となった。

個人記録では山口武（経3）が出場した506選手中17位と健闘した。川田裕也（経4）、櫻井亮也（経3）、平間大貴（創成3）、工藤颯（経3）も含めて5人が順位2桁以内。これは10位だった中央大の4人を上回るもので、来年への期待を膨らませる結果となった。

予選会には校友会の東京都支部、三多摩常磐松会、栃木県支部、埼玉県支部をはじめ各地から応援に駆け付けた。この他、農大常磐松クラブの会員、全学応援団OB、学生・教職員など大学関係者、学生家族ら総勢800人以上が沿道から東京農大の選手に声援を送った。

昭和記念公園で行った報告会では、陸上競技部の矢口行雄部長（地域環境科学部教授）は応援に感謝し「来年もいい選手が入ってくる。作戦を練って来年に臨む」とし、小指徹監督（昭62経）は「上位6人の成績は良かった。来年こそは突破を目指したい」と決意を明らかにした。

第98回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ、5月23〜26日、相模原ギオンスタジアム他）

第51回全日本大学駅伝対校選手権大会・関東学生陸上競技連盟推薦校選考会（6月23日、相模原ギオンスタジアム）

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

全日本大学駅伝への出場をかけた「関東地区予選会」に出場。20校が各8選手の出場。10000キロ合計タイムで競い、上位5校が本戦に出場する。東京農大は総合11位と健闘したが、本戦出場はかなわなかった。

箱根復活ならず
残念 予選会で16位

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

予選会には43校が出場し、各校10〜12人が力走した。そのうち各校上位10人の記録の合計で順位を競うもの。東京農大は、上位10

来年への決意を確認した報告会



陸上競技部男子
強化指定部

陸上競技部男子
強化指定部

陸上競技部男子
強化指定部

陸上競技部男子
強化指定部

陸上競技部男子
強化指定部

陸上競技部男子
強化指定部

陸上競技部男子
強化指定部

編集後記

海外に校友会支部は15支部結成され、農大は30カ国・地域の42校と協定を結んでいる。台湾でも協定校から農大に留学して母国に戻り、大学の教員や会社経営など、活躍されている卒業生が地元の校友会活動を支えながら、農大に留学生を送り出しておられる。台湾支部との交流会に同行し、海外校友の深い農大愛を感じた。今年も箱根駅伝の予選を突破できなかった。残念でならないが、強化対策の成果が出てくるのは、これからだ。「oneコイン募金」に本戦出場への熱い思いを込めて「箱根駅伝への道」を後押ししたい。（安達）

編集委員
委員長 豊原 秀和
（副会長・名誉教授）
委員 穂坂 賢
（醸造科学科教授）
委員 上岡 美保
（常任理事・国際食料科教授）
委員 小畑 幹夫
（法人本部総務部長）
委員 安達 哲司
（事務局長）

